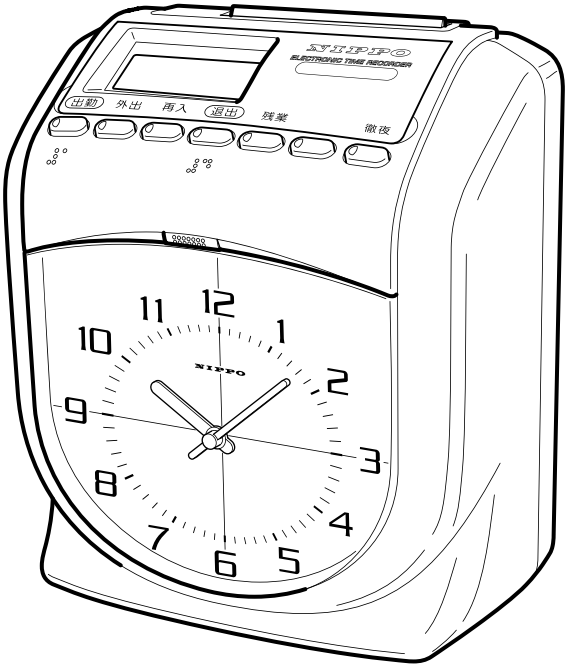
NIPPO®

ニッポー計算タイムレコーダー

NTR-2700/2800

取　扱　説　明　書



ニッポー株式会社

ご採用にあたって

このたびは、ニッポー電子タイムレコーダー **NTR-2700/NTR-2800** をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機は、「大きくて見やすいアナログ時計」を採用し、「カードによる複数の締日運用」に対応しております。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ユーザー登録カードと WEB 登録について

「ユーザー登録カード」は、必要事項をご記入の上、ご返送ください。
アフターサービスなどの資料とさせていただきます。
ユーザー登録は下記アドレスのホームページからも行えます。

ユーザー登録ページ　http://www.techno7.co.jp/nippo/touroku/

ユーザー登録して頂いたお客様の個人情報は、プライバシーポリシーに則り保存･運用いたします。

プライバシーポリシー　http://www.techno7.co.jp/nippo/privacy.html

アフターサービスと品質保証書について

「品質保証書」は、ご購入年月日・お買い上げ店名などの記入をご確認いただき、大切に保管するようお願いいたします。

- 保証期間及び保証内容は品質保証書をご確認ください。
- 万一故障が発生した場合は、63 ページの「故障かなと思う前に」をご確認ください。
- 修理が必要な場合は、お買い上げの販売店あるいはお客様センターまたは最寄りの営業所へご連絡ください。
- 保証期間内修理をする場合は、ご購入年月日とお買い上げ店名が記入が記載された品質保証書が必要となります。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「**安全にお使いいただくために**」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した内容はお使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。
次の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ **注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。**
⃠	この様な絵表示は「**禁止**（してはいけないこと）」を示しています。
❗	この様な絵表示は「**強制**（必ず守ること）」を示しています。

⚠ **警告**	
	◆ **この機器を分解または改造は絶対にしないでください。** 故障や火災・感電の原因になります。
❗	◆ **異常状態でこの機器をご使用しないでください。** 発熱していたり、煙が出たり、変な臭いがする状態で使用すると、故障や火災・感電の原因になります。 直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お客様センターまたは最寄りの営業所へ修理の依頼をしてください。 ◆ **金属片や水や液体などが機器内部に入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。** そのまま使用していると故障や火災・感電の原因になります。 お客様センターまたは最寄りの営業所へ修理の依頼をしてください。
⃠	◆ **電源は AC100V のコンセント以外は使用しないでください。** 指定外の電源を使用すると、故障や火災・感電の原因になります。 ◆ **コンセントや配線器具の定格を超える状態で使用しないでください。** 故障や火災・感電の原因になります。 ◆ **電源プラグは根元まで確実に挿し込んで使用してください。** 挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。 ◆ **電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。** コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ◆ **電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。** コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	◆ **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電の原因になります。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意
◆ **この機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。** 抜かないまま行うと、コードが傷つき火災や感電の原因になります。
◆ **機械の近くでは、可燃性の高いスプレーなど使用しないでください。** スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。 ◆ **ぐらついたり傾いたり不安定な場所に設置しないでください。** 落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因になります。 ◆ **この機器の近くに水などが入った容器や金属物を置かないでください。** こぼれたり中に入った場合、火災や感電の原因になります。 ◆ **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。** 故障や火災・感電の原因になります。 ◆ **油煙や湯気があたる場所に置かないでください。** 故障の原因になります。 ◆ **電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張って抜かないでください。** コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 必ず電源プラグを持って抜いてください。 ◆ **汚れを落とす場合は、から拭きするかお湯でよく絞った布をご使用ください。** ベンジンやシンナーなどはご使用しないでください。 ◆ **コピー機やファックスなどの強い電力を使用する機械類と同一のコンセントは使用しないでください。** 機械に誤動作の影響を与えることがあります。

目　次

ご採用にあたって i
ユーザー登録カードと WEB 登録について i
アフターサービスと品質保証書について i
安全にお使いいただくために ii
1 梱包箱からの取り出しかた 1
2 各部の名称とはたらき 2
3 電源の入れかた 5
4 印字のしかた 5
5 各種設定のしかた 6
6 カードキーサンプル 7
7 印字サンプル 8
8 時計の合わせかた 9
9 年月日の合わせかた (特殊設定) 12
10 締日変更のしかた 14
11 タイムカードの選択 (特殊設定) 16
12 印字タイプの選択 (特殊設定) 18
13 印字位置調整 (特殊設定) 20
14 出退切替時刻設定のしかた 22
15 日替わり時刻の変更 (特殊設定) 24

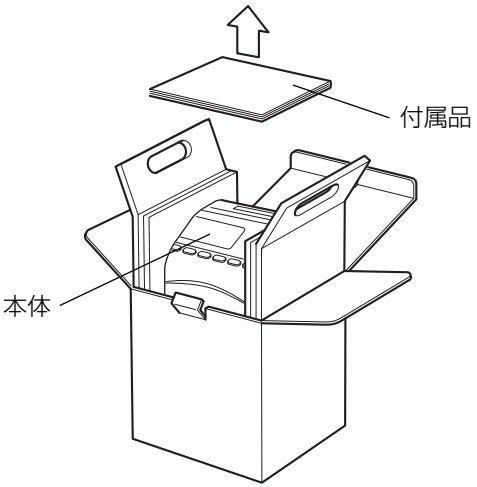
目　次

⑯ サマータイム設定 (特殊設定) 26
⑰ ボタンの有効 / 無効設定 (特殊設定) 30
⑱ チャンネル使用数設定のしかた 33
⑲ 残業計算設定のしかた.....39
⑳ リボン色切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ] 46
㉑ 時報設定のしかた [NTR-2800 のみ].....52
㉒ リセットのしかた 59
㉓ 時報音調整と外部時報接続 [NTR-2800 のみ] 60
㉔ リボンカセットの交換.....61
㉕ 設定内容の印字方法 62
㉖ 故障かなと思う前に 63
㉗ エラーコードと処理のしかた.....64
設定早見表　.....65
消耗品および仕様.....67
壁かけ用取付穴寸法.....68

1 梱包箱からの取り出しかた

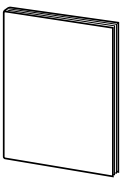
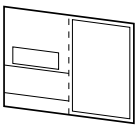
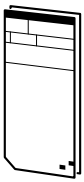
■ 梱包からの取り出しかた

取り出しは、水平で安定した台の上で行ってください。

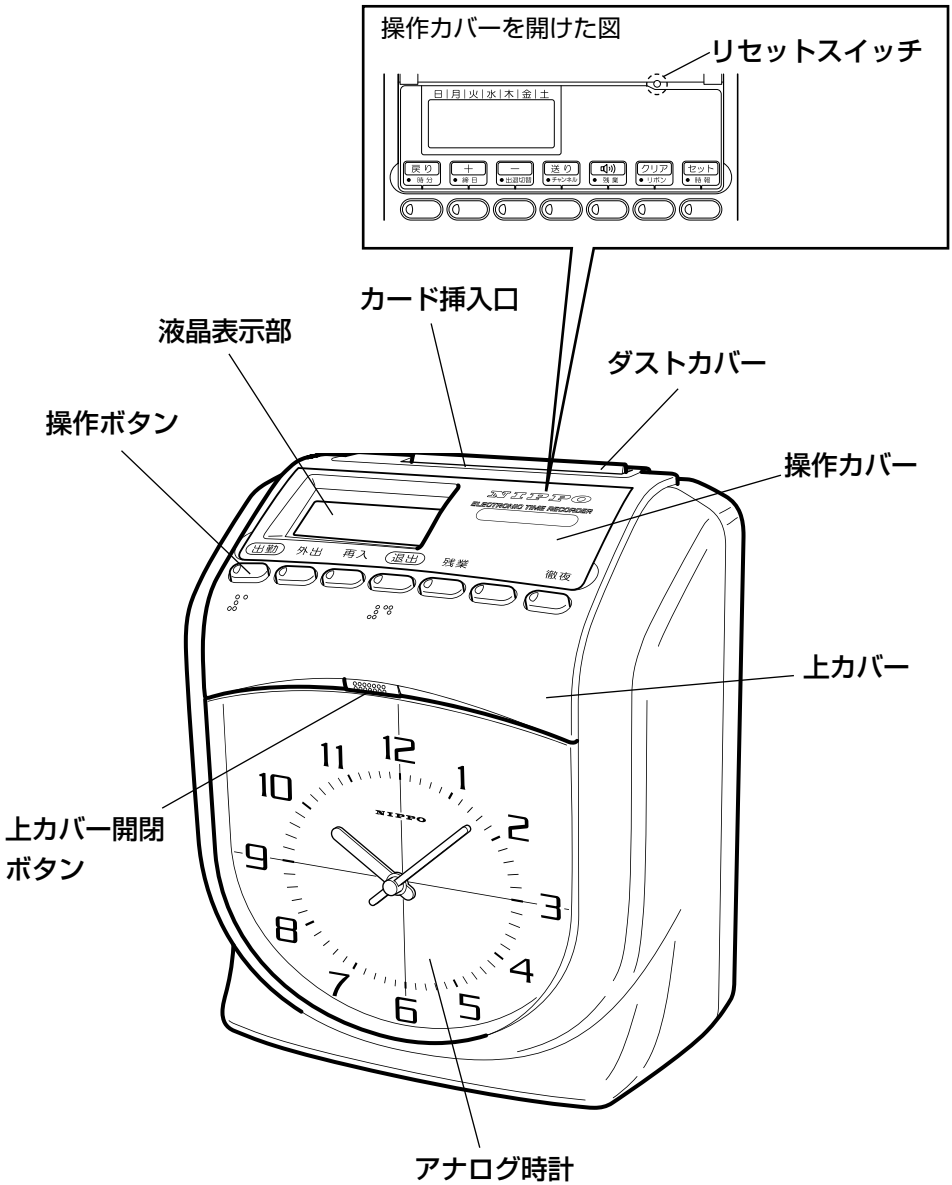


■ 付属品をお確かめください

本体を取り出したら、付属品が不足していないか、破損していないかご確認をお願いいたします。

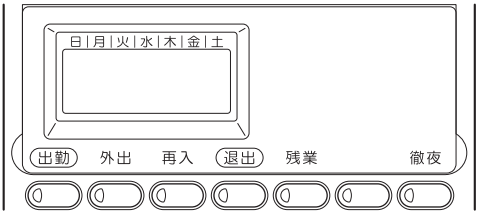
取扱説明書 ［本書］	ユーザー登録カード 品質保証書	タイムカード 2枚	カードキー 1 枚
			

2 各部の名称とはたらき



■ 操作ボタンの機能

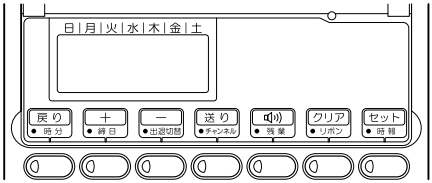
●操作カバーが閉じられているとき



選択されているボタンの
ランプが点灯しています。

ボタン	機　　能
出勤	出勤のとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。 第１欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。
外出	外出のとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。 第２欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。
再入	外出から戻ったとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。 第３欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。
退出	退出のとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。 第４欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。
残業	残業後、退出するとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。 第５欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。
	残業後、退出するとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。 第６欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。
徹夜	徹夜後、日替時刻を過ぎて退出するとき、このボタンを押してからタイムカードを投入します。前日の第５欄に印字します。印字が終わると自動的にカードが戻ります。

●操作カバーが開けられているとき [カードキーを使用し、各種設定を行う場合にこれらのボタン機能を使用します]



時報とリボンは 、NTR-2800 のみの機能となります 。

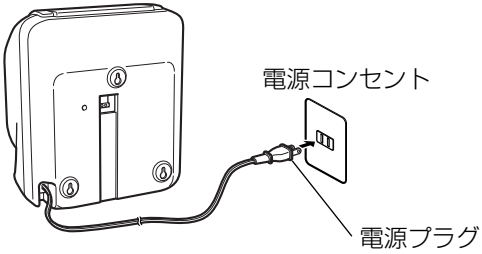
ボタン	機能	
戻り ● 時分	戻り	設定中、このボタンを押すごとに 1 つ前の操作に戻ります。
	時分	現在の時刻を合わせます。
＋ ● 締日	＋	設定中、このボタンを押すごとに数値がひとつづつカウントアップします。押し続けるとカウントは速くなります。表示が「End」の時に「+」ボタンを 3 秒間押し続けると※特殊設定になります。
	締日	締日を設定・変更します。
－ ●出退切替	－	設定中、このボタンを押すごとに数値がひとつづつカウントダウンします。押し続けるとカウントは速くなります。
	出退切替	出退切替時刻を設定・変更します。
送り ●チャンネル	送り	設定中、このボタンを押すごとに 1 つ先の操作に進みます。
	ﾁｬﾝﾈﾙ	チャンネルの使用数を指定します。
●残業	🔊	時報設定時、選曲したメロディーの吹鳴確認を行います。(NTR-2800 のみの機能です。) 一度押すと吹鳴し、再び押すと吹鳴停止します。
	残業	残業計算を設定・変更します。
クリア ● リボン	クリア	設定中にこのボタンを押すと設定項目内の表示している画面を初期置に戻します。
	リボン	リボン色切替時刻を設定･変更します。(NTR-2800 のみの機能です。)
セット ● 時報	セット	設定項目内の表示している画面の数値を確定します。 表示が「End」の時にこのボタンを 3 秒間押し続けると表示が点滅し、カード挿入口よりカードキーが(注) 自動的に排出します。
	時報	時報を設定・変更します。(NTR-2800 のみの機能です 。)

※ 設定早見表（65 ページ）を参照。

（注）カードキーは無理に引き抜かないでください。

3 電源の入れかた

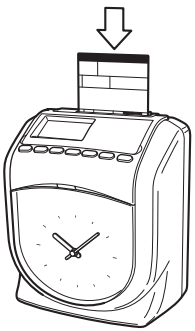
本体後面からでている電源プラグを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。
表示部に年月日が表示されることを確認してください。



ご参考 **この商品は工場出荷時に年・月・日・曜日・時刻・締日（31 日締め）・日替り時刻（午前 3：00）を合わせて出荷しております。**

4 印字のしかた

付属のタイムカードの表裏を確認して投入します。（表裏を逆に投入するとピィピィピィと警告音が鳴り、表示部にエラーコードが表示されカードが戻ります。カードの表裏を確認して投入してください。）
印字が正常に行われることを確認してください。



ご注意 **タイムカードは無理に押し込んだり、引き出さないでください。印字段ズレの原因となり、また、タイムカード巻取り部やプリンターの故障原因となります。**

5 各種設定のしかた

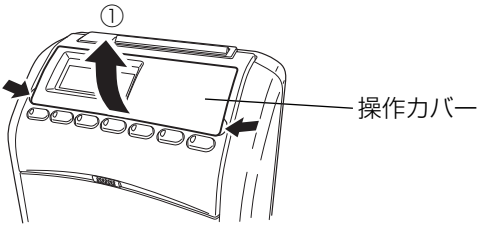
各種設定には、カードキーが必要です。カードキーをカード挿入口に挿入してから各種設定を行ってください。

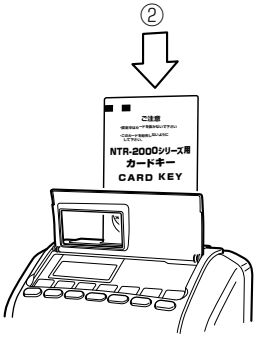
■操作カバーの開きかた

次ページ以降の各種設定は、操作カバーを開けて、カードキーをカード挿入口に挿入してから行います。

① 図のように操作カバーの左右にあるくぼみに指を入れ、操作カバーを上方向に開きます。

② カードキーをカード挿入口に挿入します。
液晶表示部にアドレスと項目が表示されます。





ご注意 **設定中は、カードキーを無理に抜かないでください。**
また、カードを折り曲げたり、汚したりしないでください。

■アドレスについて

アドレスとは各種設定をするとき、液晶表示部に最大 6 桁の数字が表示されます。
この数字左側 2 桁が「アドレス」です。
アドレス番号は現在設定中の項目を表示します。

■特殊設定について

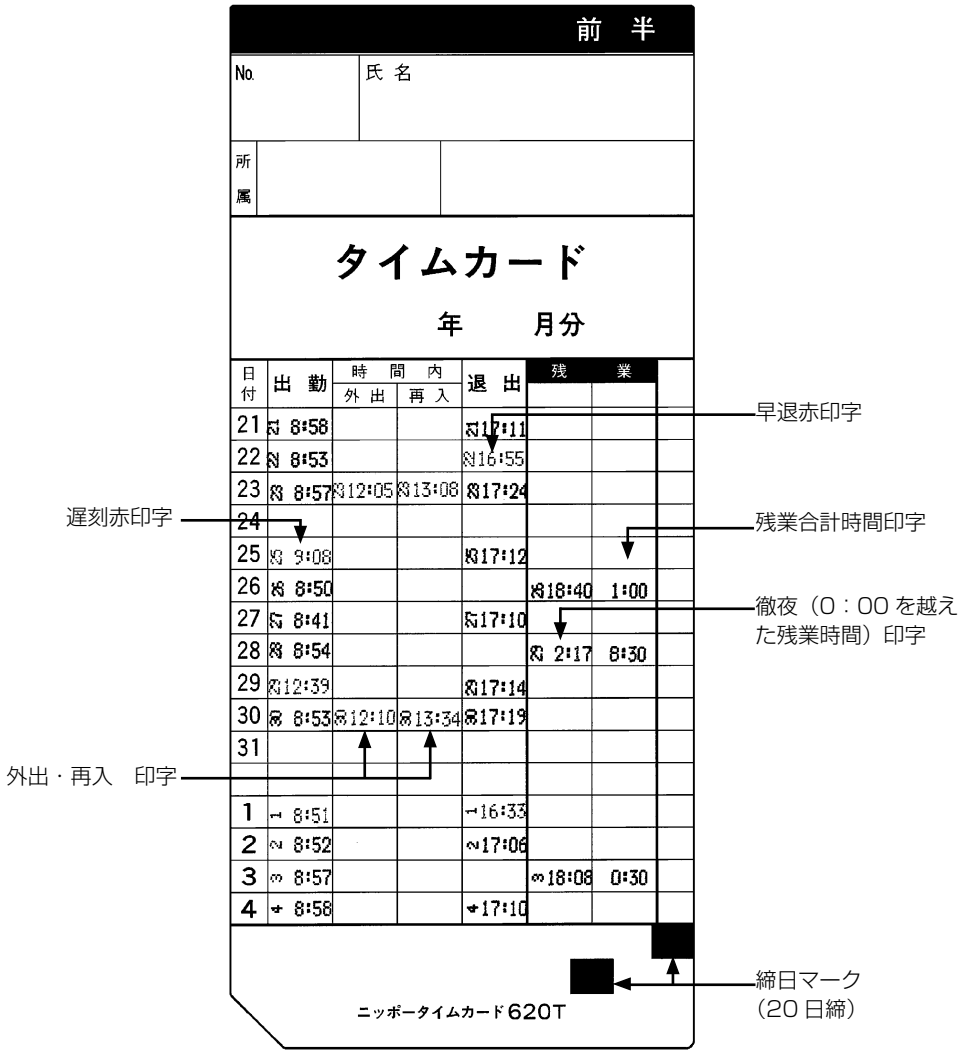
通常のご利用では変更する必要のない設定内容ですが、お客様の必要に応じて細かな内容を設定することができます。

6 カードキーサンプル

本機は、従来の金属的なカギで設定する方式と異なり、カードキーを使用して
設定モードに入る方式を採用しています。このキーが無ければ設定できません。
カードは紛失しないよう特にご注意ください。

※カードキーは NTR-2500、NTR-2600 と共用です。

7 印字サンプル



設定内容＝締日は 20 日、リボン切替（黒→赤）時刻 9：00、日替時刻0：00
リボン切替（赤→黒）時刻 17：00、残業計算は 17：30 から 30 分単位

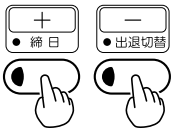
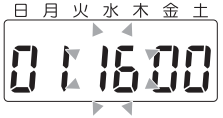
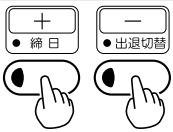
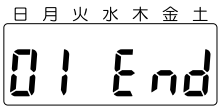
※ NTR-2800 の印字サンプルです。NTR-2700 は黒 1 色印字となります。

8 時計の合わせかた

時計が遅れたり、進んでいるときに時刻を合わせます。

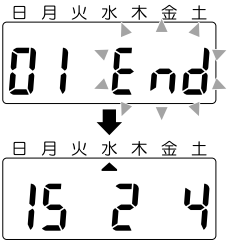
時分設定時の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 01 を表示します。

時分設定：（例）時刻を午後 4 時 24 分に合わせる場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。（ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。） [時分] の操作ボタンを 1 回押します。 時分のランプが点灯し、液晶表示も時分設定の表示となり、時の入力状態になります。	 ※ 1 アドレス表示
2		時の変更を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、時を合わせます。 時刻は 24 時間制で入力してください	
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 分の入力状態になります。	
4		分の変更を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、分を合わせます。	
5		[セット] ボタンを 1 回押します。 “00 秒スタート” 「01 End」が表示されます。 アナログ時計が 4 時 24 分を指します。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
6	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。液晶表示の「01 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

ご注意

- 上記時分の 00 秒スタートは [＋]、[ー] ボタンにより数値変更があり [セット] ボタンが押された時に有効となります。
- 時分設定（変更）後の第 1 打刻：（コロン）は印字しません。
- 時分設定（変更）をしないで、時の入力状態の時に、[戻る] ボタンを押すと「**時計アジャスト機能**」が働きます。（詳しくは 11 ページ参照）

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや［セット］ボタンを押し、再度［時分］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

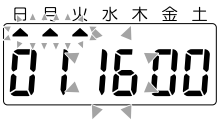
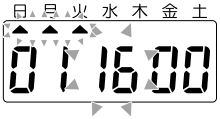
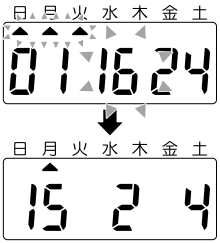
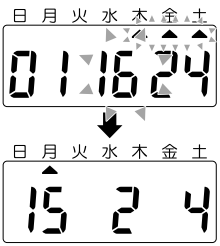
設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

時計アジャスト機能

少ない操作で内蔵時計を 0 秒スタートすることができる機能です。
30 秒～ 59 秒の時に動作させると 1 分繰り上げて 0 秒スタートします。

（例）時刻が午後 4 時 24 分のとき。

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。) [時分] の操作ボタンを 1 回押します。 時分のランプが点灯し、液晶表示も時分設定の表示となり、時の入力状態になります。	
2		時が点滅表示しているときに、[戻り] ボタンをします。 時計アジャスト機能設定の表示となります。 現在の時刻と秒数を表示します。	
3		**【▲が左で点滅しているときは 0 ～ 29 秒までを表してます、次の操作で 0 秒スタートします】** **[戻り] ボタンを押します。** “00 秒スタート”します。 カードキーが排出されます。 アナログ時計が 4 時 24 分を指します。 通常に戻ります。	
		【▲が右で点滅しているときは 30 ～ 59 秒までを表してます、次の操作で 1 分進めて 0 秒スタートします】 **[戻り] ボタンを押します。** 1 分進めて“00 秒スタート”します。 カードキーが排出されます。 アナログ時計が 4 時 25 分を指します。 通常に戻ります。	

ご注意

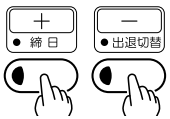
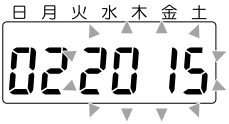
・▲が点滅しているとき、時の入力状態で [+] または [−] ボタンを押すと、▲が点滅しなくなり、通常の時分設定に戻ります。

9 年月日の合わせかた（特殊設定）

年月日の変更・修正を行います。（本機は、万年カレンダーになっておりますので通常設定する必要はございませんが、変更・修正するときは、以下の操作を行ってください。）

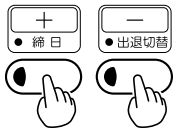
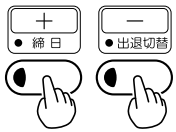
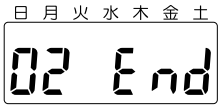
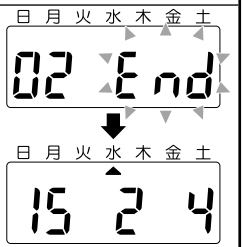
年月日設定時の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 02 を表示します。

年月日設定：（例）年月日を 2015 年 2 月 4 日に合わせる場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1	 3 秒間押す	操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。（ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。） [時分] の操作ボタンを 1 回押します。 時分のランプが点灯し、液晶表示も時分設定の表示となります。 [セット] ボタンを 2 回押します。 「01 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が年月日設定の表示となり、年月日の年の入力状態になります。 または、前項【時計の合わせかた】終了後、通常画面に戻らず、[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が年月日設定の表示となり、年月日の年の入力状態になります。	 ※ 1 アドレス表示
2		年の変更をします。 [＋]、[－] ボタンを押して、年を合わせます。 年号は西暦で合わせます。 設定範囲：2015 年～ 2099 年	
3		[セット] ボタンを一回押します。 月の入力状態となります。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
4		月の変更を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、月を合わせます。	
5		[セット] ボタンを 1 回押します。 日の入力状態となります。	
6		日の変更を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、日を合わせます。	
7		[セット] ボタンを 1 回押します。 年月日のランプが消灯します。 「02 End」が表示されます。	
8	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「02 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや［セット］ボタンを押し、再度［時分］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

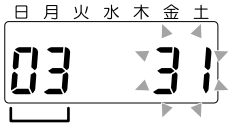
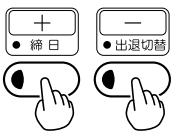
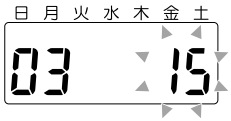
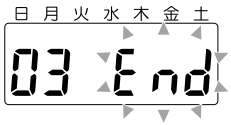
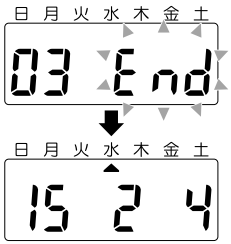
10 締日変更のしかた

締日とは、会社で決められた給与等の締め切り日の（一ヶ月の最終日）ことです。

締日により、タイムカードの種類が異なりますので 15 ページの締日マークを参照し各締日に合ったタイムカードをご使用ください。機械は複数の締日カードに対応します 。本機は工場出荷設定では、31 日締めにセットされています。本設定は600T カードのみ有効であり、他の締日カードの締日が優先されます。

締日設定時の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 03 を表示します。

締日設定：（例）締日を 15 日締に合わせる場合

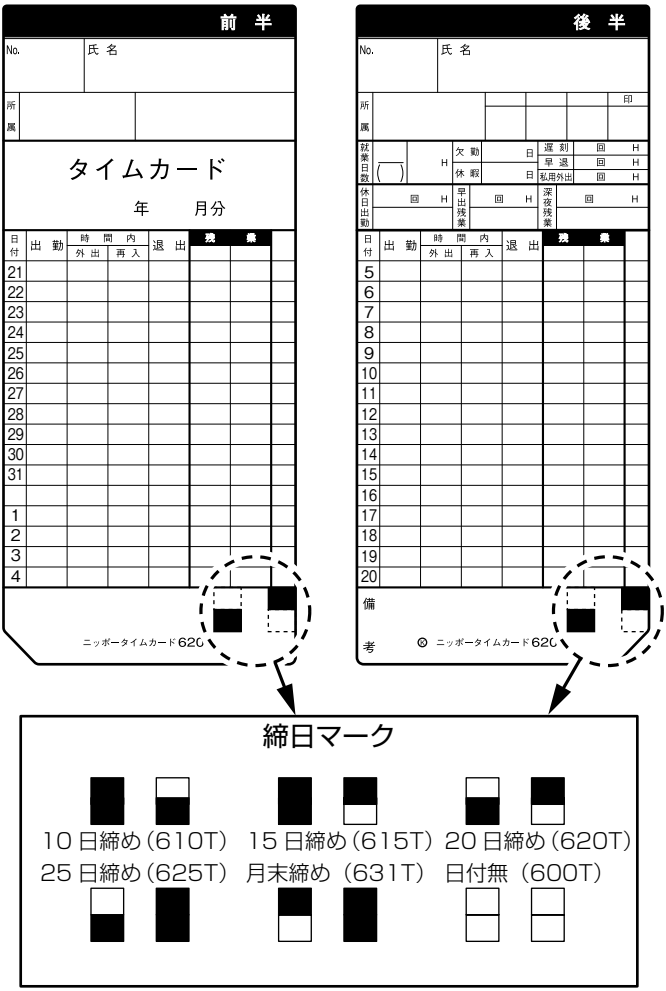
順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。（ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。） [締日] の操作ボタンを 1 回押します。 締日のランプが点灯し、液晶表示も締日設定の表示となり、締日の入力状態になります。	 ※ 1 アドレス表示
2		締日の変更を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、締日を合わせます。 月末締日の場合は、必ず“31”と入力してください。	
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 締日のランプが消灯し、「03 End」が表示されます。	
4	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「03 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

■締日マーク

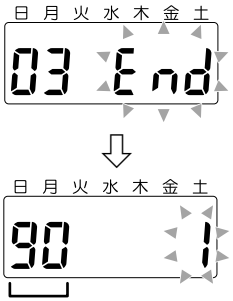
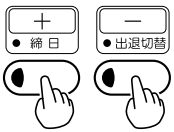
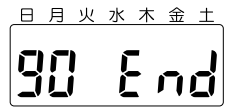
タイムカードには、610T（10 日締め）、615T (15 日締め)、620T（20 日締め）
625T（25 日締め）、631T（月末締め）600T（フリー）の 6 種類があります。



11 タイムカードの選択（特殊設定）

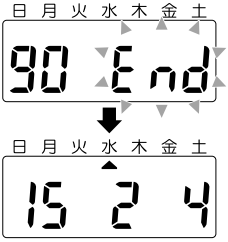
ニッポータイムカードの表裏判別（有り / 無し）、他社のタイムカードの選択を設定します。
タイムカードの選択の※1アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 90 を表示します。

タイムカード選択：（例）ニッポータイムカード表裏判別無しに合わせる場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1	 3 秒間押す	操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。（ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。） [締日] の操作ボタンを 1 回押します。 締日のランプが点灯し、液晶表示も締日設定の表示となり、締日の入力状態になります。 [セット] ボタンを 1 回押します。 「03 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がタイムカードの選択の表示となります。 --- または、前項【締日変更のしかた】終了後、通常画面に戻らず、［+］ ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がタイムカードの選択の表示となります。	 ※ 1 アドレス表示
2		使用するタイムカードの選択を行います。 [+]、[－] ボタンを押して、ニッポータイムカード表裏判別無しに合わせます。 ニッポータイムカード表裏判別無し : 0 ニッポータイムカード表裏判別有り : 1 A 社カード : 2 S 社カード : 3 “0” と入力してください。	
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 タイムカードの選択のランプが消灯し、「90 End」が表示されます。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
4	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「90 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで [送り] ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［締日］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

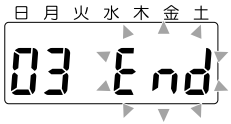
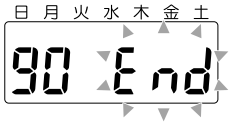
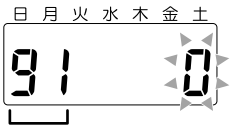
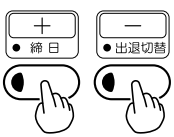
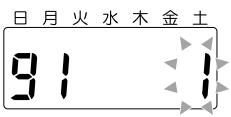
設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

12 印字タイプの選択（特殊設定）

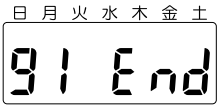
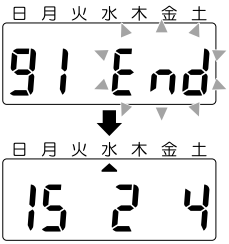
タイムカード印字にて、時刻の前に”日付”あるいは”曜日”印字する選択ができます。
印字タイプの選択の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 91 を表示します。

印字タイプの選択：（例）曜日を印字する場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1	 3 秒間押す 3 秒間押す	操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。（ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。） [締日] の操作ボタンを 1 回押します。 締日のランプが点灯し、液晶表示も締日設定の表示となり、締日の入力状態になります。 [セット] ボタンを 1 回押します。 「03 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がタイムカードの選択設定の表示となります。 [セット] ボタンを 1 回押します。 「90 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が印字タイプの選択設定の表示となります。 --- または、前項【タイムカードの選択】終了後、通常画面に戻らず、[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が印字タイプの選択設定の表示となります。	 ⇩  ⇩  ※ 1 アドレス表示
2		印字タイプを選択します。 [＋]、[－] ボタンを押して、曜日印字に合わせます。 “1”と入力してください。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 印字タイプの選択のランプが消灯し、「91 End」が表示されます。	
4	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「91 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで [送り] ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［締日］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

13 印字位置調整（特殊設定）

タイムカードへの印字位置を微調整できます。横位置（左右）±2mm/ 縦位置（上下）± 6mm 調整可能です。

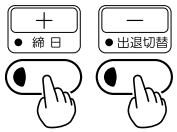
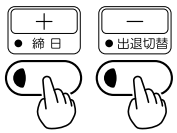
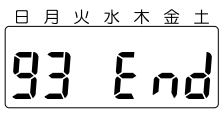
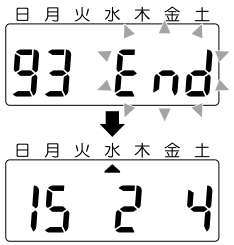
印字位置調整の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で横位置 92、縦位置 93 を表示します。

印字位置調整：（例）横位置 +2、縦位置 +2、に合わせる場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。（ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。）	日 月 火 水 木 金 土 03 End
		[締日] の操作ボタンを 1 回押します。 締日のランプが点灯し、液晶表示も締日設定の表示となり、締日の入力状態になります。	⇩
		[セット] ボタンを 1 回押します。 「03 End」が表示されます。	日 月 火 水 木 金 土 90 End
	3 秒間押す	[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がタイムカードの選択設定の表示となります。	⇩
		[セット] ボタンを 1 回押します。 「90 End」が表示されます。	日 月 火 水 木 金 土 91 End
		[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が印字タイプの選択設定の表示となります。	⇩
	3 秒間押す	[セット] ボタンを 1 回押します。 「91 End」が表示されます。	日 月 火 水 木 金 土 92 0
		[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が印字位置・横位置調整の表示となります。	※ 1 アドレス表示
		または、前項【印字タイプ選択】終了後、通常画面に戻らず、[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が印字位置調整（横位置）の表示となります。	
	3 秒間押す		

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
2		横位置を調整します。 [＋]、[－] ボタンを押して、+2 に合わせます。 "2" と入力してください。	
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 液晶表示が印字位置調整（縦位置）が表示されます。	
4		縦位置を調整します。 [＋]、[－] ボタンを押して、+2 に合わせます。 "2" と入力してください。	
5		[セット] ボタンを 1 回押します。 印字位置調整のランプが消灯し、「93 End」が表示されます。	
6	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「93 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで [送り] ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［締日］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

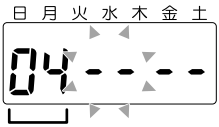
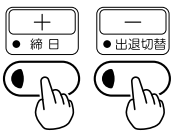
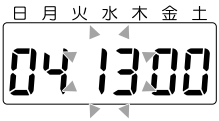
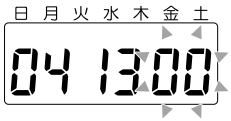
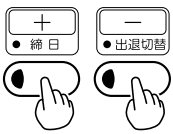
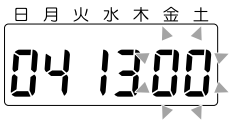
14 出退切替時刻設定のしかた

出勤から退出への切替時刻を設定をします。

出勤欄（第 1 欄）と退出欄（第 4 欄）の印字位置を切替時刻を設定することによって自動化できます。不要な場合は設定しなくてもそのままボタン操作でご使用になれます。

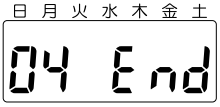
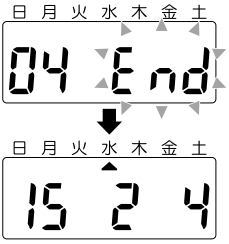
出退切替時刻設定時の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 04 を表示します。

出退切替時刻設定 :（例）出退切替時刻を 13 時 00 分に合わせる場合

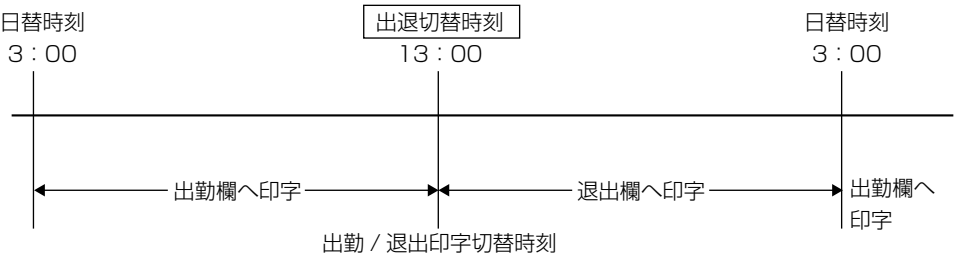
順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。) [出退切替] の操作ボタンを押します。 出退切替のランプが点灯し、液晶表示は出退切替時刻の表示となり、時の入力状態になります。	 ※ 1 アドレス表示
2		時の入力を行います。（例）13：00 [＋]、[－] ボタンを押して、時を合わせます。 "13" と入力します。 時刻は 24 時間制で入力します。	
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 分の入力状態になります。	
4		分の変更を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、分を入力します。 "00" と入力します。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
5		[セット] ボタンを 1 回押します。 「04 END」が表示され、出退切替時刻のランプが消灯します。	
6	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。液晶表示の「04 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

●出退切替時刻例



やり直し

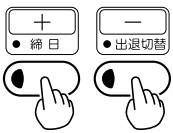
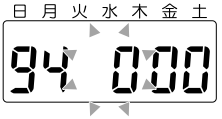
設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［出退切替］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

15 日替わり時刻の変更（特殊設定）

日替わり時刻とは、1 日の終了時刻です。通常は夜中の 0:00 ですが、工場出荷設定では 3:00 になってます。この時刻までが当日で、退出時の打刻が出勤時の印字段に記録できます 。
”分”の位は入力できません 、”時”のみです 。

日替わり時刻設定時の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 94 を表示します。

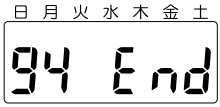
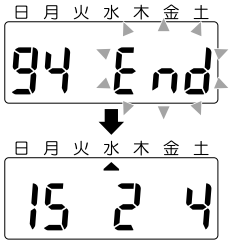
日替わり時刻設定 :（例）日替わり時刻を0時 00 分に合わせる場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1	 3 秒間押す	操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。 ） [出退切替] の操作ボタンを押します。 出退切替のランプが点灯し、液晶表示は出退切替時刻の入力状態になります。 [セット] ボタンを 2 回押します。 「04 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が日替わり時刻設定の表示となり、時の入力状態となります。 または、前項【出退切替時刻設定のしかた】終了後、通常画面に戻らず、［+］ ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が日替わり時刻設定の表示となり、時の入力状態となります。	 ※ 1 アドレス表示
2		時の入力を行います。（例）0：00 [＋]、[ー] ボタンを押して、日替わり時刻を合わせます。 日替わり時刻を "0" に合わせます。	

次ページへ

日替わり時刻の変更（特殊設定）

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 「94 END」が表示され、出退切替のランプが消灯します。 日替わり時刻の設定には”分”の設定はありません。	
4	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「94 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

やり直し

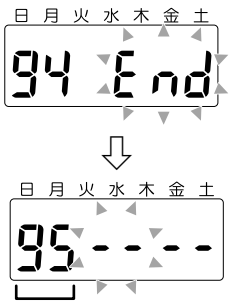
設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［出退切替］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

16 サマータイム設定（特殊設定）

サマータイムとは、春から秋にかけて時計の針を１時間進めたり 、遅らせたりする制度です 。開始日の実施指定時刻に１時間進め 、終了日の実施指定時刻に１時間遅らせます 。

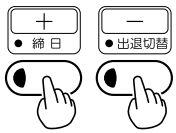
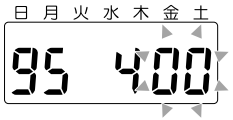
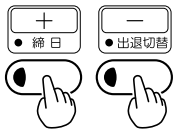
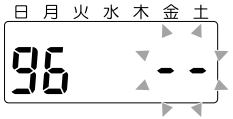
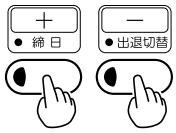
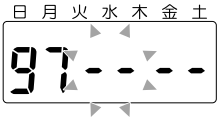
サマータイム設定時の※１ アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で開始月・開始週 95、開始曜日 96、終了月・終了週 97、終了曜日 98 を表示します。

サマータイム設定：（例）開始日を 4 月の第一週の日曜日、終了日を 9 月の第五週の日曜日に合わせる場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1	 ３秒間押す ３秒間押す	操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。) [出退切替] の操作ボタンを押します。 出退切替のランプが点灯し、液晶表示は出退切替時刻の入力状態になります。 [セット] ボタンを 2 回押します。 「04 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が日替わり時刻設定の表示となります。 [セット] ボタンを 1 回押します。 「94 End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がサマータイム設定の表示となり、開始月の入力状態となります。 または、前項【日替わり時刻の変更】終了後、 通常画面に戻らず、[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がサマータイム設定の表示となり、開始月の入力状態となります。	 ※１ アドレス表示

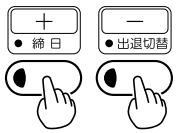
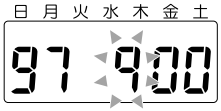
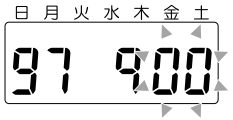
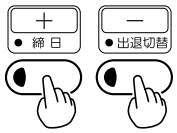
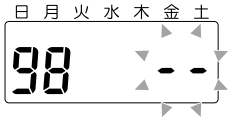
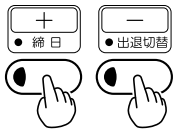
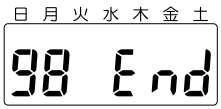
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
2		開始月の入力を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、開始月を合わせます。 開始月を "**4**"（4 月）に合わせます。	
3		[セット] ボタンを 1 回押します。 開始週の入力状態になります。	
4		開始週の入力を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、開始週を合わせます。 開始週を "**1**"（第 1 週）に合わせます。	
5		[セット] ボタンを 1 回押します。 開始曜日の入力状態になります。	
6		開始曜日の入力を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、曜日を合わせます。 開始曜日を "**7**"（日曜日）に合わせます。 1:月曜日、2:火曜日、3:水曜日、4:木曜日、5：金曜日、6：土曜日、7：日曜日	
7		[セット] ボタンを 1 回押します。 終了月の入力状態になります。	

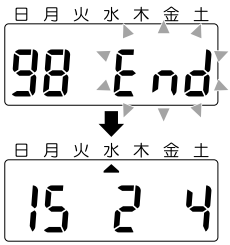
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
8		終了月の入力を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、終了月を合わせます。 終了月を "**9**"（9 月）に合わせます。	
9		[セット] ボタンを 1 回押します。 終了週の入力状態になります。	
10		終了週の入力を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、終了週を合わせます。 終了週を "**5**"（第 5 週）に合わせます。	
11		[セット] ボタンを 1 回押します。 終了曜日の入力状態になります。	
12		終了曜日の入力を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、曜日を合わせます。 終了曜日を "**7**"（日曜日）に合わせます。 1:月曜日、2:火曜日、3:水曜日、4:木曜日、5：金曜日、6：土曜日、7：日曜日	
13		[セット] ボタンを 1 回押します。 「98 END」が表示され、締日のランプが消灯します。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
14	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「98 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

ご注意

・サマータイム設定の週設定は、該当曜日がある週を第一週とします。
・週の指定で、第五週を指定した場合、実際に第五週が存在しない年・月・曜日は第四週として扱われます。この場合、再度第五週が存在する年･月･曜日になったときは有効として扱われます。

設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

やり直し

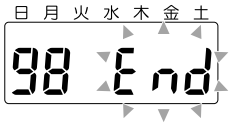
設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［出退切替］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

17 ボタンの有効 / 無効設定（特殊設定）

操作ボタン（出勤、外出、再入、退出、残業、徹夜）を効かなくすることができます。「無効」にすると、そのボタンを押しても印字はできません。

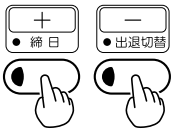
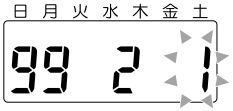
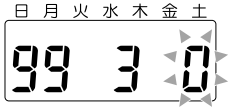
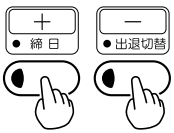
ボタンの有効 / 無効設定時の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 99 を表示します。

ボタンの有効 / 無効設定：（例）外出、再入ボタンを無効にする場合

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。)	
	× 2	[出退切替] の操作ボタンを押します。 出退切替のランプが点灯し、液晶表示は出退切替時刻の入力状態になります。	
	3 秒間押す	[セット] ボタンを 2 回押します。 「04　End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示が日替わり時刻設定の表示となります。	日 月 火 水 木 金 土 
		[セット] ボタンを 1 回押します。 「94　End」が表示されます。	⇩
	3 秒間押す	[+] ボタンを 3 秒間押します。 液晶表示がサマータイム設定の表示となります。	日 月 火 水 木 金 土
	× 6	[セット] ボタンを 6 回押します。 「98　End」が表示されます。 [+] ボタンを 3 秒間押します。 出退切替ランプが点灯し、液晶表示がボタンの有効 / 無効設定の【出勤】操作ボタンを有効の "0" を表示となります。	※ 1 アドレス表示
	3 秒間押す	**または、前項【サマータイム変更】終了後、通常画面に戻らず、[+] ボタンを 3 秒間押します。** 出退切替ランプが点灯し、液晶表示がボタンの有効 / 無効設定の【出勤】操作ボタンを有効の "0" を表示となります。	

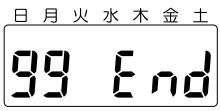
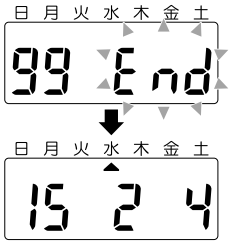
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
2		【出勤】操作ボタンは有効のまま使用しますので、[セット] ボタンを 1 回押します。 【外出】操作ボタンの入力状態になります。	
3		【外出】操作ボタンを” 無効” に合わせます。 [＋]、[ー] ボタンを押して、無効を合わせます。 【外出】操作ボタンを "1"（無効）に合わせます。	
4		[セット] ボタンを 1 回押します。 【再入】操作ボタンの入力状態になります。	
5		【再入】操作ボタンを” 無効” に合わせます。 [＋]、[ー] ボタンを押して、無効を合わせます。 【再入】操作ボタンを "1"（無効）に合わせます。	
6		[セット] ボタンを 1 回押します。 【退出】操作ボタンの入力状態になります。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
7	 3 回押す	【退出】、【残業】、【徹夜】操作ボタンは有効のまま使用しますので、 [セット] ボタンを 3 回押します。 「99 END」が表示され、出退切替のランプが消灯します。	
8	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「99 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

ご注意

・その他の操作ボタンを変更するときは、上記の 5、6 項を繰り返します。
設定時のアドレス番号は：
出勤「99　1」、外出「99　2」、再入「99　3」、退出「99　4」、残業「99　5」、残業「99　6」、徹夜「99　7」です。

設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［出退切替］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

18 チャンネル使用数設定のしかた

- **NTR-2700 型には、「残業計算」機能があります。**
- **NTR-2800 型には、上記の機能の他に遅刻 / 早退 / 外出赤印字の「リボン色切替」機能とメロディチャイムが内蔵されており定刻に「時報」を鳴らすことができます。**
- **それぞれの項目を設定する場合、一週間（日～土）を二つのグループ（チャンネル設定）に分けて、管理することができます。**
- **設定が不要の場合は、以降の項目を入力しなくともお使いいただけます。**

使用するチャンネルの数、適用する曜日を指定します。

チャンネルは 2 通り指定できます。いったん入力すれば「残業時間」「リボン切替(NTR-2800 のみ)」「時報(NTR-2800 のみ)」各項目の設定にも共通(使用）となります。

※1 チャンネル使用数、実行曜日指定時の※2 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 05 を表示します。

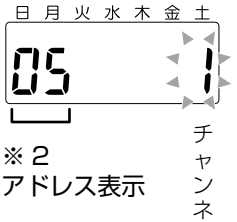
チャンネル使用数：(例) チャンネル使用数が「2」のとき、
チャンネル 1 に（月）～（金)、チャンネル 2 に（日)、(土) を ON に設定する場合。

※ 1 チャンネル使用数の説明

例えば、**a** 月曜日から金曜日までは通常勤務で、土曜日が " 半ドン "12：00 までの会社、あるいは、**b** 月曜日から金曜日までは通常勤務で、土曜日と日曜日が " 休日 " の会社の場合、チャンネル数二つ (= 曜日指定) が選べますので、それぞれのチャンネルに " 曜日 " を指定します。

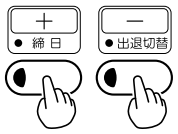
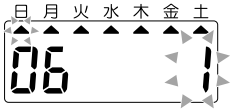
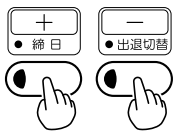
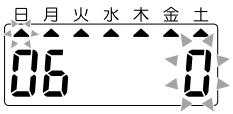
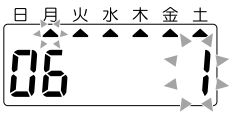
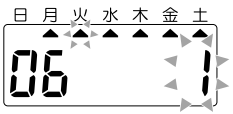
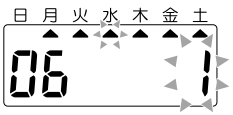
(例) **a**：チャンネル使用数が二つで、チャンネル 1 に月曜日～金曜日を ON 指定、チャンネル 2 へは土曜日のみを ON 指定します。

(例) **b**：チャンネル使用数が一つで、チャンネル 1 に月曜日～金曜日を ON 指定、チャンネル 2 は使用しません。

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。) [チャンネル] の操作ボタンを 1 回押します。 チャンネルのランプが点灯し、液晶表示はチャンネル使用数の入力待ちとなります。	

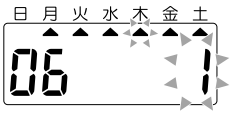
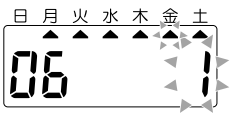
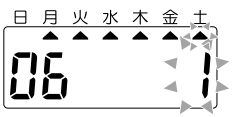
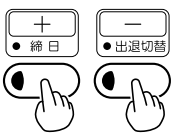
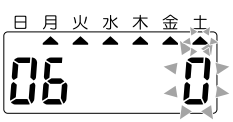
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
2		**● チャンネル使用数の設定** ① チャンネル使用数を入力します。 [＋]、[－]ボタンを押して、"2" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 チャンネル 1 の実行曜日指定の入力状態になります。	
3		**● チャンネル 1 実行曜日の設定** ① チャンネル 1 の実行曜日の指定を入力します。（月～金が ON） [＋]、[－] ボタンを押して、日曜日 OFF "0" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 月曜日の入力状態になります。	
		③ 月曜日は ON のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 火曜日の入力状態になります。	
		④ 火曜日も ON のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 水曜日の入力状態になります。	

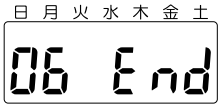
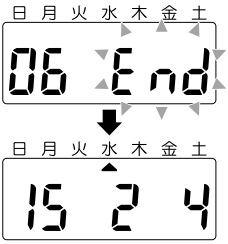
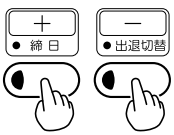
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
3		⑤ 水曜日も ON のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 木曜日の入力状態になります。	
		⑥ 木曜日も ON のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 金曜日の入力状態になります。	
		⑦ 金曜日も ON のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 土曜日の入力状態になります。	
		⑧ [＋]、[－] ボタンを押して、土曜日 OFF "0" に合わせます。	

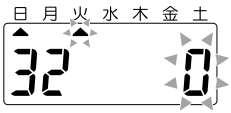
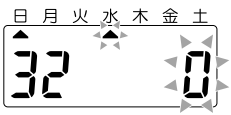
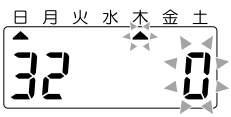
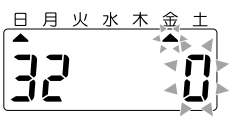
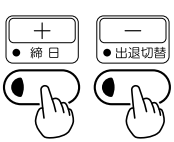
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
●チャンネル使用数 1 の場合			
4		⑨ [セット] ボタンを 1 回押します。 「06 END」が表示され、チャンネルのランプが消灯します。	
5	 3 秒間押す	⑩ [セット] ボタンを3秒間押し続けます。 液晶表示の「06 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	
●チャンネル使用数 2 の場合			
4		⑨ [セット] ボタンを 1 回押します。 チャンネル 2 の実行曜日指定の入力状態になります。	
5		**● チャンネル 2 実行曜日の設定** ① チャンネル 2 の実行曜日の指定を入力します。（日、土を ON） [＋]、[－] ボタンを押して、日曜日 ON "1" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 月曜日の入力状態になります。	

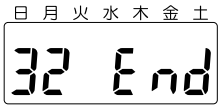
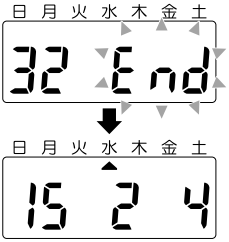
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
5		③ 月曜日は OFF のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 火曜日の入力状態になります。	
		④ 火曜日は OFF のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 水曜日の入力状態になります。	
		⑤ 水曜日は OFF のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 木曜日の入力状態になります。	
		⑥ 木曜日は OFF のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 金曜日の入力状態になります。	
		⑦ 金曜日は OFF のままとします。 [セット] ボタンを 1 回押します。 土曜日の入力状態になります。	
		⑧ [＋]、[－] ボタンを押して、土曜日 ON "1" に合わせます。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
6		⑨ [セット] ボタンを 1 回押します。 「32 END」が表示され、チャンネルのランプが消灯します。	
7	 3 秒間押す	⑩ [セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「32 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

ご注意

・実行曜日指定は、チャンネル2の場合、日曜日から土曜日まで初期値“0”（OFF）に設定されています。これはチャンネル1を優先している為です。従って、点滅表示している曜日を“+，−”キーで“1”（ON）に設定することにより有効に機能します.

設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

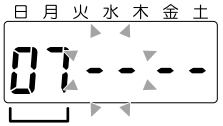
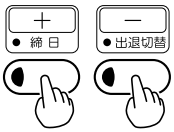
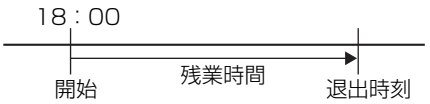
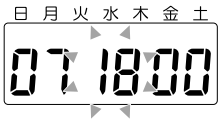
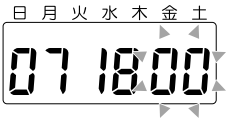
やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［チャンネル］ボタンを押して順序1から操作をやり直してください。

19 残業計算設定のしかた

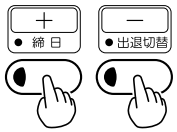
チャンネル 1 の残業計算開始時刻、残業印字開始時刻、丸め単位、実数方式の設定します。
※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で表示します。
残業開始時刻：07、残業印字時刻：08、丸め単位：09、時数方式：10

残業設定：(例) 残業開始時刻：18 時 00 分、残業印字時刻：18 時 30 分、
丸め単位：30 分、時数方式：60 進の場合

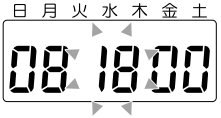
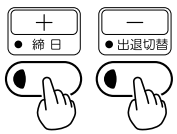
順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。) [残業] の操作ボタンを 1 回押します。 残業のランプが点灯し、液晶表示は残業計算開始時刻の時の入力待ちとなります。	 ※ 1 アドレス表示
2		●※2 **残業計算開始時刻設定（例）18：00** ① 残業計算開始時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 ※ 2 残業 " 計算 " を開始する時刻です。 この時刻から退出時刻までが残業時間になります。  残業開始時刻を "18" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 残業開始時刻の分の入力状態になります。	

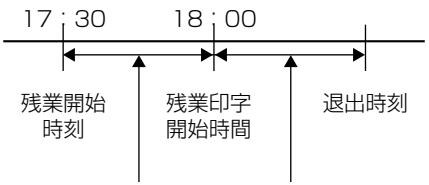
次ページへ

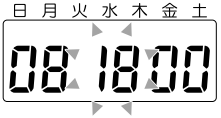
（つづき）

<table>
<tr><th>順序</th><th>操作ボタン</th><th>説　明</th><th>表　示　部</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td> 
</td><td>③［＋］、［－］ボタンを押して、分を入力します。

残業開始時刻を "00" に合わせます。</td><td>
</td></tr>
<tr><td>
</td><td>④［セット］ボタンを 1 回押します。

残業印字開始時刻設定の時の入力状態になります。</td><td> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td> 
</td><td>●※3 残業印字開始時刻設定（例）18：30
① 残業印字開始時刻の設定を行います。
［＋］、［－］ボタンを押して、時を入力します。

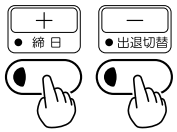
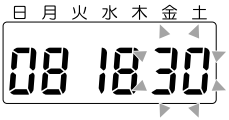
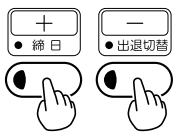
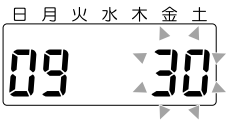
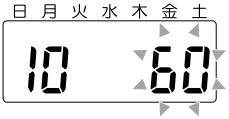
※ 3 残業 " 印字 " を開始する時刻です。
残業計算開始時刻を過ぎてから退出するとき、残業時間として認めて計算印字する時刻のことです。
 

残業印字開始時刻を "18" に合わせます。</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>
</td><td>②［セット］ボタンを 1 回押します。

残業印字開始時刻の分の入力状態になります。</td><td>
</td></tr>
</table>

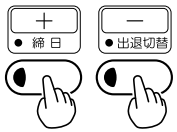
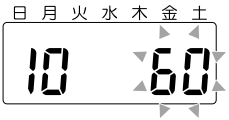
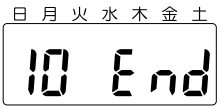
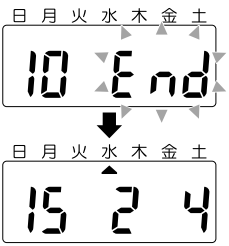
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
3		③［＋］、［－］ボタンを押して、分を入力します。 残業印字開始時刻の分を "30" に合わせます。	
		④ 以上で残業印字時刻の指定が終了です。 ［セット］ボタンを 1 回押します。 丸め単位の入力状態になります。	
4		●※4 **丸め単位設定**（例）30 分単位 ① 丸め単位の設定を行います。 ［＋］、［－］ボタンを押して、単位を合わせます。 ※ 4 残業丸め単位とは残業時間の計算 " 単位 " です。 1/5/6/10/15/20/30/60 分の 8 単位があります。残業計算開始時刻から退出までの計算結果を " 丸め単位 " で「切り捨て」ます。 （例） 丸め単位が「30 分」の場合 《計算式》 退出時刻　残業計算開始時刻 20：25　－　17：00　=3:25 丸め作業 3：25 → 3：00（分の位を 30 分単位で切り捨てます）となります 。 丸め単位を "30" に合わせます。	
		②［セット］ボタンを 1 回押します。 時数方式の入力状態になります。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
5		**●※5 時数方式（60/100 進法）設定** ① 時数方式を指定します。 [＋]、[－] ボタンを押して、60 進か 100 進かを指定します。今回は 60 進のままとします。 ※ 5 時数方式（60/100）進法とは、残業計算結果の「印字方法」です。 （例）丸め単位が「15 分」で、残業時間が "45 分 " だった場合。 60 進法 =0：45 と印字 100 進法 =0.75 と印字されます。 時数方式を "**60**" に合わせます。	
●チャンネル使用数 1 の場合			
6		② [セット] ボタンを 1 回押します。 「10 END」が表示され、残業のランプが消灯します。	
7	 3 秒間押す	[セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。液晶表示の「10 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

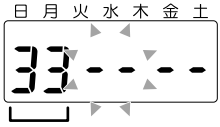
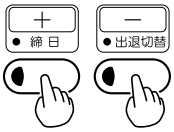
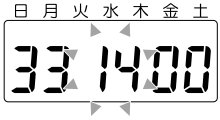
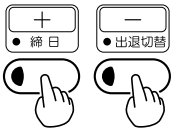
次ページへ

残業計算設定のしかた

チャンネル 2 の残業計算開始時刻、残業印字開始時刻、丸め単位、時数方式の設定します。
※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で表示します。
残業開始時刻：33、残業印字時刻：34、丸め単位：35、時数方式：36

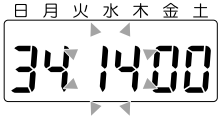
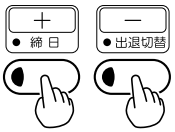
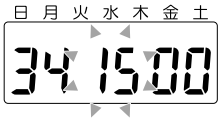
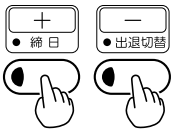
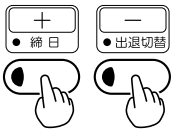
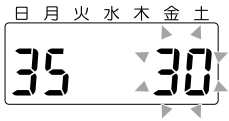
残業設定：(例) 残業開始時刻：14 時 00 分、残業印字時刻：15 時 00 分、
丸め単位：30 分、時数方式：60 進の場合

(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
●チャンネル使用数 2 の場合			
6		② [セット] ボタンを 1 回押します。 チャンネル 2 の残業計算開始時刻の入力状態になります。	 ※ 1 アドレス表示
7		**● 残業計算開始時刻設定（例）14：00** ① 残業計算開始時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 残業開始時刻を "**14**" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 残業開始時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[ー] ボタンを押して、分を入力します。 残業開始時刻を "**00**" に合わせます。	

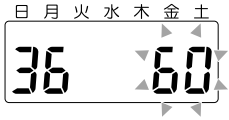
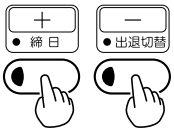
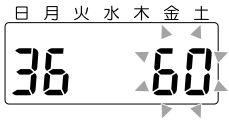
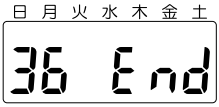
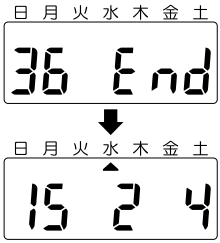
次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
7		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 残業印字開始時刻設定の時の入力状態になります。	
8		**● 残業印字開始時刻設定**（例）15：00 ① 残業印字開始時刻の設定を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、時を入力します。 残業印字開始時刻を "**15** に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 残業印字開始時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[－] ボタンを押して、分を入力します。 残業印字開始時刻の分を "**00**" に合わせます。	
		④ 以上で残業印字時刻の指定が終了です。 [セット] ボタンを 1 回押します。 丸め単位の入力状態になります。	
9		**● 丸め単位設定**（例）30 分単位 ① **丸め単位の設定を行います。** [＋]、[－] ボタンを押して、単位を合わせます。 残業印字時刻を "**30**" に合わせます。	

次ページへ

（つづき）

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
9		②［セット］ボタンを 1 回押します。 時数方式の入力状態になります。	
10		**● 時数方式（60/100 進法）設定** ① 時数方式を指定します。 ［＋］、［－］ボタンを押して、60 進か 100 進かを指定します。今回は 60 進のままとします。	
		②［セット］ボタンを 1 回押します。 「36 END」が表示され、残業のランプが消灯します。	
11	 3 秒間押す	［セット］ボタンを 3 秒間押し続けます。液晶表示の「36 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや［セット］ボタンを押して、再度［残業］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

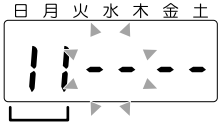
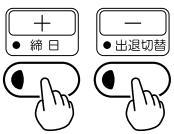
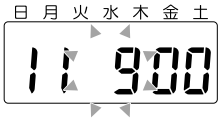
20 リボン色切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ]

遅刻、早退、外出などを区別するための、リボン色（タイムカードに印字される色［黒 / 赤の 2 色］）を切替える時刻を設定します。

リボン色切替時刻設定には、黒⇨赤に切替える時刻設定と赤⇨黒に切替える時刻設定が必要です。

●チャンネル 1 の場合
リボン色切替時刻（黒⇨**赤**）の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 11 を表示します。
リボン色切替時刻（赤⇨**黒**）の※2 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 12 を表示します。
●チャンネル 2 の場合
リボン色切替時刻（黒⇨**赤**）の※3 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 37 を表示します。
リボン色切替時刻（赤⇨**黒**）の※4 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 38 を表示します。

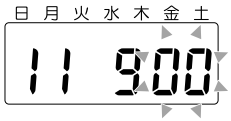
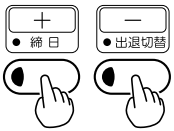
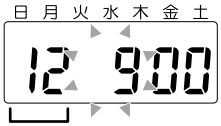
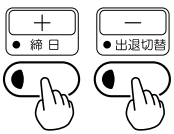
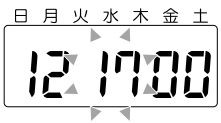
（例）チャンネル使用数が「2」のとき、
チャンネル 1 に（月）～（金）を入力、チャンネル 2 に（土）を入力する場合。

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。） [リボン] の操作ボタンを 1 回押します。 リボンのランプが点灯し、液晶表示はリボン切替時刻の時の入力待ちとなります。	 ※ 1 アドレス表示
2		**●リボン色切替時刻 黒→赤印字** **（例）9：00** ① 黒→赤切替時刻の設定を行います。 [＋]、[－] ボタンを押して、時を入力します。 「遅刻」して印字した場合、タイムカードの印字は " 赤色 " 印字となります。 黒→赤切替時刻の時を "**9**" に合わせます。	

次ページへ

リボン切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ]

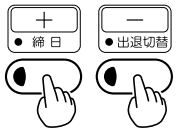
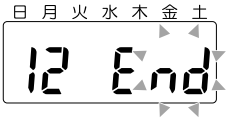
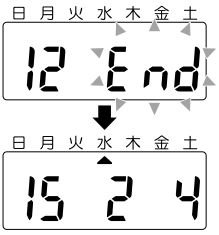
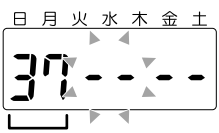
(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
2		② [セット] ボタンを 1 回押します。 黒→赤切替時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[ー] ボタンを押して、分を入力します。 黒→赤切替時刻の分を "00" に合わせます。	
		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 続いて、赤→黒切替時刻の時の入力状態になります。	 ※ 2 アドレス表示
3		**●リボン色切替時刻 赤→黒印字** （例）17：00 ① 赤→黒切替時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 「早退」して印字した場合、タイムカードの印字は " 赤色 " 印字となります。 設定時刻以降は、黒色へと戻ります。 赤→黒切替時刻の時を "17" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 赤→黒切替時刻の分の入力状態になります。	

次ページへ

リボン切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ]

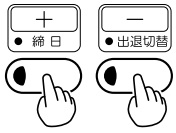
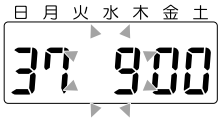
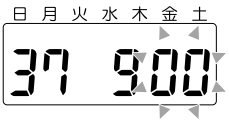
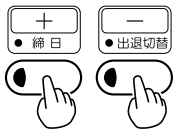
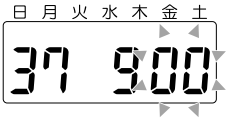
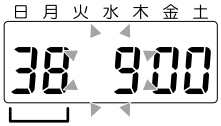
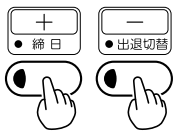
(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
3		③ [＋]、[－] ボタンを押して、分を入力します。 赤→黒切替時刻の分を "**00**" に合わせます。	
●チャンネル使用数 1 の場合			
3		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 **チャンネル 1 のリボン色切替時刻の設定を終了します。** 「12 END」が表示され、リボン切替時刻のランプが消灯します。	
4	 3 秒間押す	⑤ [セット] ボタンを３秒間押し続けます。 液晶表示の「12 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	
●チャンネル使用数 2 の場合			
3		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 **チャンネル 1 のリボン色切替時刻の設定を終了します。** 続いて、チャンネル 2 のリボン切替時刻の時の入力待ちとなります	 ※ 3 アドレス表示

次ページへ

リボン切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ]

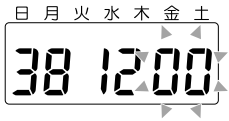
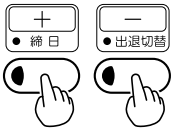
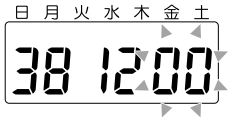
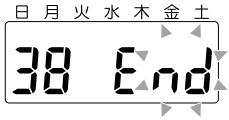
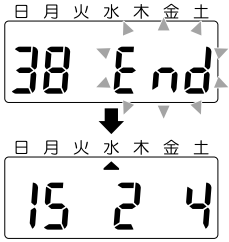
(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
4		**●リボン色切替時刻 黒→赤印字** （例）9：00 ① 黒→赤切替時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 黒→赤切替時刻の時を "**9**" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 黒→赤切替時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[ー] ボタンを押して、分を入力します。 黒→赤切替時刻の分を "**00**" に合わせます。	
		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 続いて、赤→黒切替時刻の時の入力状態になります。	 ※ 4 アドレス表示
5		**●リボン色切替時刻 赤→黒印字** （例）12：00 ① 赤→黒切替時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 赤→黒切替時刻の時を "**12**" に合わせます。	

次ページへ

リボン切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ]

(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
5		② [セット] ボタンを 1 回押します。 赤→黒切替時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[－] ボタンを押して、分を入力します。 赤→黒切替時刻の分を "00" に合わせます。	
		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 **チャンネル 2 のリボン色切替時刻の設定を終了します。** 「38 END」が表示され、リボン切替時刻のランプが消灯します。	
	 3 秒間押す	⑤ [セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「38 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

リボン切替時刻設定のしかた [NTR-2800 のみ]

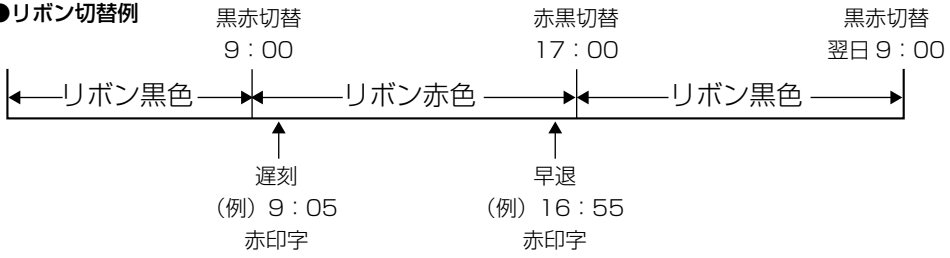
設定の移動

設定入力中で「End」が表示されているとき、いずれかのボタンを押すと、その項目の設定に移動します。

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［リボン］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

●リボン切替例



21 時報設定のしかた [NTR-2800 のみ]

時報（設定した時刻に時報をならす）の設定をします 。

時報設定には、音量調整選択･デジタル音量調整･吹鳴長･時報時刻（16 回）･選曲があります。

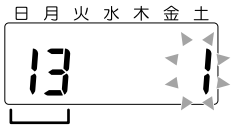
時報設定の※1 アドレス番号は液晶表示の左 2 桁で表示します。
音量調整選択のアドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 13 を表示します。
デジタル音量調整のアドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 14 を表示します。
時報吹鳴長のアドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 15 を表示します。

●チャンネル 1 の場合
時報吹鳴時刻、選曲のアドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 16 ～ 31 を表示します。

●チャンネル 2 の場合
時報吹鳴時刻、選曲のアドレス番号は液晶表示の左 2 桁で 39 ～ 54 を表示します。

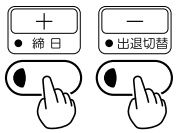
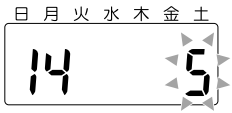
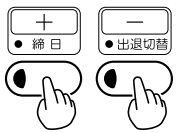
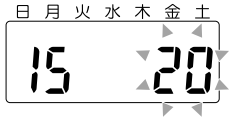
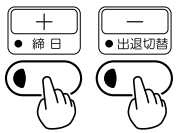
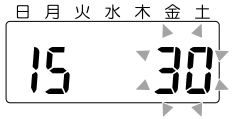
時報設定（例）：音量調整選択を「デジタル」、デジタル音量調整を「1」、時報吹鳴長を「30 秒」
･チャンネル 1 の設定
1 回目の時報吹鳴時刻を「8 : 55」、選曲指定を「3 : ウェストミンスター (27 秒)」
･チャンネル 2 の設定
1 回目の時報吹鳴時刻を「8 : 55」、選曲指定を「2 : アマポーラ (31 秒)」

それぞれの時報吹鳴長、時報吹鳴時刻の設定を行います。

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
1		操作カバーを 90 度上に開け、カードキーをカード挿入口に挿入します。(ピーと音が鳴り液晶表示の年月日が点滅します。) [時報] の操作ボタンを 1 回押します。 時報のランプが点灯し、液晶表示は音量調整選択の入力待ちとなります。	 ※ 1 アドレス表示

次ページへ

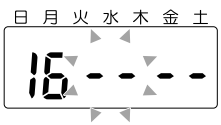
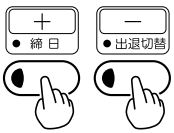
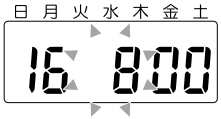
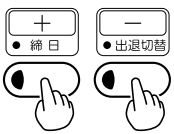
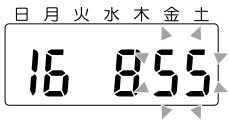
(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
2		**●音量調整選択を設定します。** **（例）デジタル** ① 音量調整選択の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、音量調整を入力します。 音量調整選択を "**1 (デジタル)**" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 デジタル音量調整の入力状態になります。 ※ 順序2- ①で、音量調整選択を "**0 (アナログ)**" に設定したときは、アドレス 15 に進みます。	
3		**●デジタル音量調整を設定します。** **（例）1** ① デジタル音量調整の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、デジタル音量調整を入力します。 デジタル音量調整を "**1**" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 時報吹鳴長の入力状態になります。	
4		**●時報吹鳴長を設定します。** **（例）30 秒** ① 時報吹鳴長の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、[※5] 吹鳴長を入力します。 ※ 5 チャイムと外部時報の鳴る " 秒数 " を設定します。 吹鳴長を "**30**" に合わせます。	

次ページへ

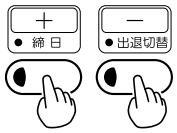
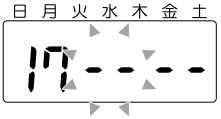
時報設定のしかた [NTR-2800 のみ]

(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
4		② [セット] ボタンを 1 回押します。 時報吹鳴開始時刻の時の入力状態になります。	
5		**●時報を鳴らす時刻を設定します。** **＜ 1 回目＞（例）8 : 55** ① 吹鳴開始時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 吹鳴開始時刻の時を "**8**" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 時報吹鳴開始時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[ー] ボタンを押して、分を入力します。 吹鳴開始時刻の分を "**55**" に合わせます。	
		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 選曲指定の入力状態になります。	

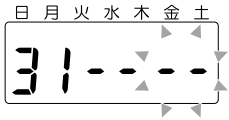
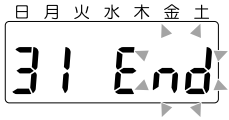
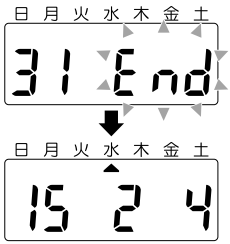
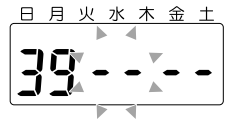
次ページへ

(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
6		**●曲目を設定します。** **（例）ウェストミンスター (27 秒)** ① [＋]、[ー] ボタンを押して、選曲指定を入力します。 0：外部時報のみ 1：峠の我が家（35 秒) 2：アマポーラ（31 秒) 3：ウェスミントスター（27 秒) 吹鳴曲は 3 種類あります。 吹鳴曲 0= 外部時報のみ 0 を設定するとチャイムは鳴りません。 1=「峠の我が家（35 秒)」と外部時報接続 2=「アマポーラ（31 秒)」と外部時報接続 3=「ウェストミンスター（27 秒)」と外部時報接続 曲目指定を "**3「ウェストミントスター (27 秒)」**" に合わせます。 **● 曲目チェック** 吹鳴曲を選択する時に、曲目チェックができます。 操作 ·アドレス番号 "16" 表示の時、スピーカー ( ) ボタンを押すと曲名が鳴ります。 ·曲目を止める時は、再度スピーカーボタンを押してください。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 2 回目の吹鳴時刻開始の時の入力状態となります。	

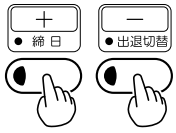
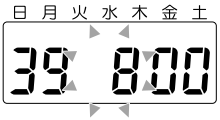
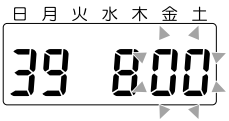
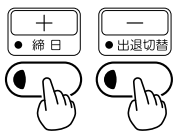
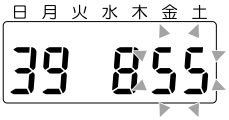
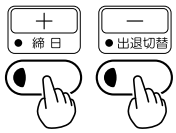
次ページへ

(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
6		＜ 2 回目～ 16 回目＞ ③ 以下同様にアドレス番号 17 以降、アドレス番号 31 まで時刻と曲目を設定できます。	
		④ 吹鳴時刻をセットしたら [セット] ボタンを押して、画面にアドレス番号 31 まで進めてください。	
●チャンネル使用数 1 の場合			
7		⑤ [セット] ボタンを 1 回押します。 **時報設定を終了します。** 「31 END」が表示され、リボン切替時刻のランプが消灯します。	
8	 3 秒間押す	⑥ [セット] ボタンを３秒間押し続けます。 液晶表示の「31 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	
●チャンネル使用数 2 の場合			
7		**・チャンネル 2 の時報設定** ⑤ [セット] ボタンを 1 回押します。 **チャンネル1の時報設定を終了します。** 続いて、チャンネル２の＜ 1 回目＞の時報吹鳴開始時刻の時の入力状態になります。	

次ページへ

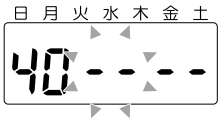
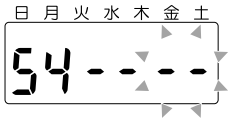
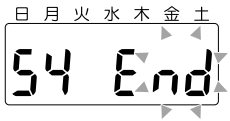
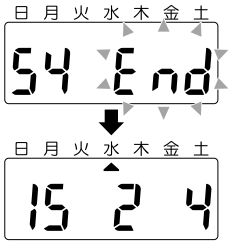
(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
8		**●時報を鳴らす時刻を設定します。** **＜ 1 回目＞（例）8：55** ① 吹鳴開始時刻の設定を行います。 [＋]、[ー] ボタンを押して、時を入力します。 吹鳴開始時刻の時を "**8**" に合わせます。	
		② [セット] ボタンを 1 回押します。 時報吹鳴開始時刻の分の入力状態になります。	
		③ [＋]、[ー] ボタンを押して、分を入力します。 吹鳴開始時刻の分を "**55**" に合わせます。	
		④ [セット] ボタンを 1 回押します。 選曲指定の入力状態になります。	
9		**●曲目を設定します。** **（例）アマポーラ (31 秒)** ① [＋]、[ー] ボタンを押して、選曲指定を入力します。 曲目指定を "**2「アマポーラ (31 秒)」**" に合わせます。	

次ページへ

時報設定のしかた [NTR-2800 のみ]

(つづき)

順序	操作ボタン	説　明	表　示　部
9		② [セット] ボタンを 1 回押します。 2 回目の吹鳴時刻開始の時の入力状態となります。	
10		＜ 2 回目～ 16 回目＞ ③ 以下同様にアドレス番号 40 以降、アドレス番号 54 まで時刻と曲目を設定できます。	
11		④ 吹鳴時刻をセットしたら [セット] ボタンを押して、画面にアドレス番号 54 まで進めてください。	
12		⑤ [セット] ボタンを 1 回押します。 チャンネル 2 の時報設定を終了します。 「54 END」が表示され、時報のランプが消灯します。	
13	 3 秒間押す	⑥ [セット] ボタンを 3 秒間押し続けます。 液晶表示の「54 End」が点滅し、カードキーが排出されます。 通常に戻ります。	

やり直し

設定途中で操作を間違えた場合や最初から設定をやり直したい場合は、「End」表示が画面に出るまで［送り］ボタンや [セット] ボタンを押して、再度［時報］ボタンを押して順序 1 から操作をやり直してください。

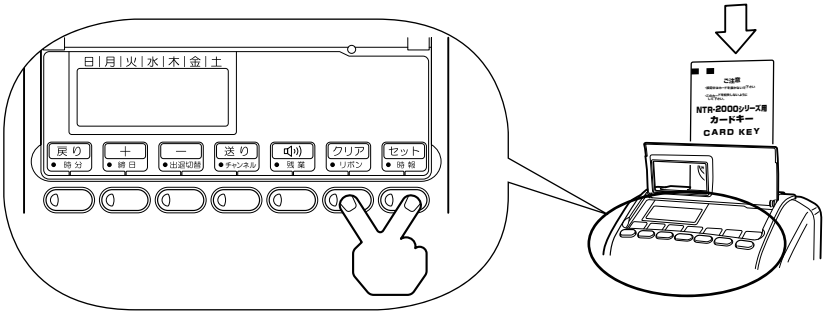
22 リセットのしかた

■初期設定リセット

設定を工場出荷時の内容に戻します。

＜操作方法＞

① 操作カバーを 90 度上に開け、[**クリア**] ボタンと [**セット**] ボタンを同時に押しながら、カードキーをカード挿入口に挿入します。



ご注意

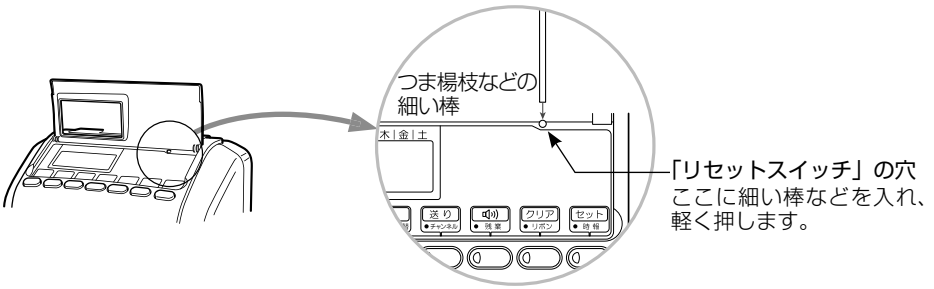
・リセットをしますと、時刻、年月日以外の設定されている内容が、全て、リセット (初期値）されます。

■再起動

動作がおかしい時に回復させます。（設定はクリアされません。）

＜操作方法＞

① 操作カバーを 90 度上に開け、[**リセットスイッチ**] の穴に先の細い棒で軽く押します。



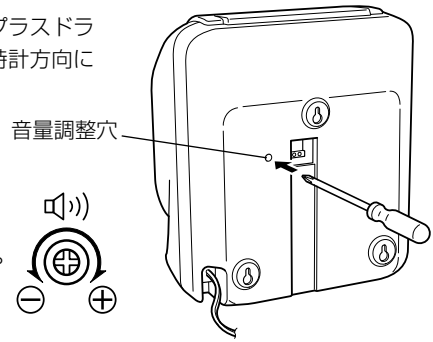
ご注意 故障の原因になりますので、金属の細い棒は使用しないでください。

23 時報音の調整と外部時報接続 [NTR-2800 のみ]

■時報音の調整

※「時報設定のしかた」で、音量調整選択を「0：アナログ」に選択したときのみ調整できます。

時報の音の大きさは、本体裏面の音量調節穴に小型プラスドライバーを差し込みボリュームを回して調整します。時計方向に回すと大きくなり、逆方向に回すと小さくなります。



ご注意 ドライバーは軽く回してください。

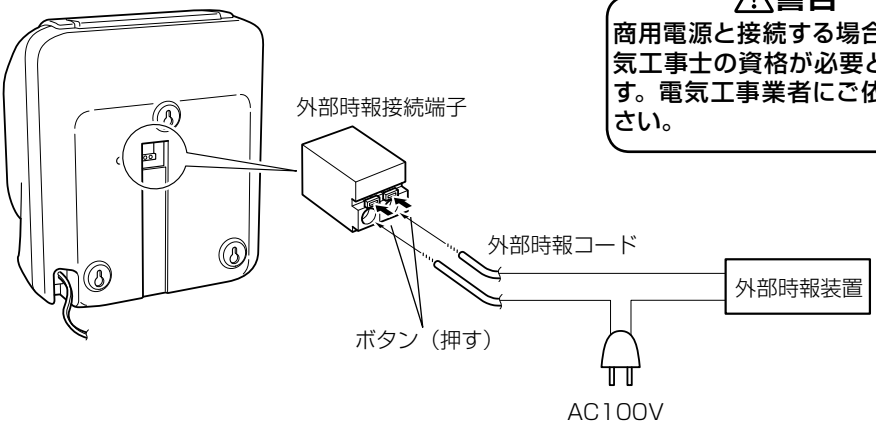
■外部時報の接続方法

外部時報接続端子を本機に接続します。

図のように本機の裏面に、外部時報接続端子のボタンを押しながら、外部時報のコードを 2 箇所に差し込みます。

⚠警告

商用電源と接続する場合は、電気工事士の資格が必要となります。電気工事業者にご依頼ください。



ご参考 **接続の動作確認は、曲目チェック (52 ページ参照) で確認してください。**

24 リボンカセットの交換

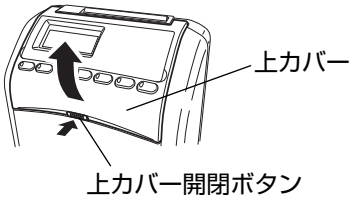
タイムカードの印字が薄くなったらリボンカセットを交換してください。

⚠警告

リボンカセットの交換中は、本体内部の配線や部品に手を触れぬようご注意ください。

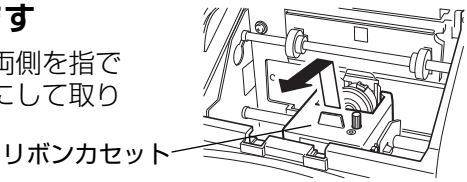
1 上カバーを開きます

① 上カバー開閉ボタンを矢印方向に押しながら上カバーを 90° 上方向に開きます。



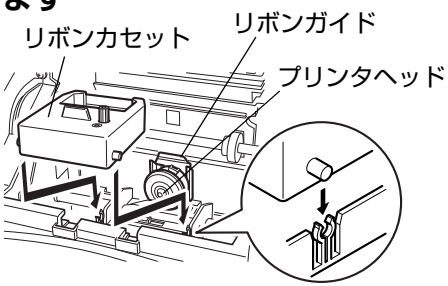
2 リボンカセットを取り外します

① 図のように、リボンカセットの両側を指でつかみ、手前に持ち上げるようにして取り外します。

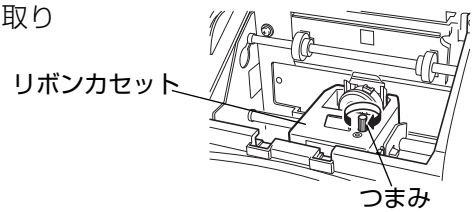


3 新しいリボンカセットをセットします

① リボンをリボンガイドとプリンタヘッドの間につまみを回してたるみをとりながら正しく入れます。
② パチッと音がするまでリボンカセットを押し込みます。



③ 再度、リボンカセットのつまみを矢印方向に回しリボンのたるみを取ります。

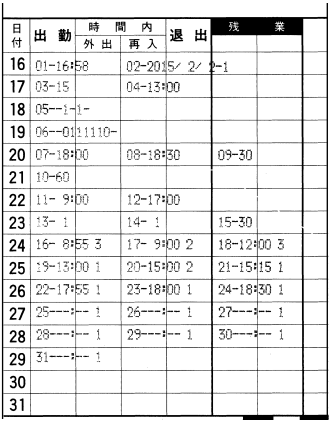


4 上カバーを閉じます

25 設定内容の印字方法

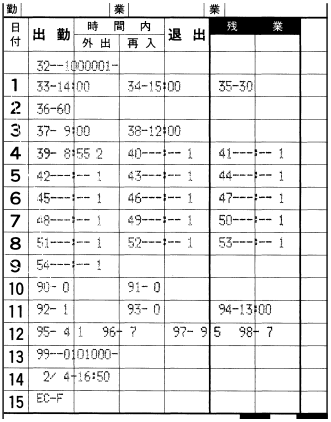
各設定内容は、タイムカードに印刷することができます。
設定内容リスト印字は“徹夜”キーを 3 秒以上押しながらタイムカードを挿入します。
表面を印字後、いったんタイムカードを引き抜いて、裏面を手前に再度、挿入してください。
続けて後半を印字します。

液晶表示の表面印刷中は L-1 と表示します。



日付	出勤	時間内 外出	時間内 再入	退出	残業	残業
16	01-16:58		02-20:5/ 2/ 2-1			
17	03-15		04-13:00			
18	05--1-1-					
19	06--01:1110-					
20	07-18:00		08-18:30		09-30	
21	10-60					
22	11- 9:00		12-17:00			
23	13- 1		14- 1		15-30	
24	16- 8:55 3		17- 9:00 2		18-12:00 3	
25	19-13:00 1		20-15:00 2		21-15:15 1	
26	22-17:55 1		23-18:00 1		24-18:30 1	
27	25---:-- 1		26---:-- 1		27---:-- 1	
28	28---:-- 1		29---:-- 1		30---:-- 1	
29	31---:-- 1					
30						
31						

液晶表示の裏面印刷中は L-2 と表示します。(L-2 は、表面印刷後から表示)



	日付	出勤	時間内 外出	時間内 再入	退出	残業	残業
		32--1000001-					
	1	33-14:00		34-15:00		35-30	
	2	36-60					
	3	37- 9:00		38-12:00			
	4	39- 8:55 2		40---:-- 1		41---:-- 1	
	5	42---:-- 1		43---:-- 1		44---:-- 1	
	6	45---:-- 1		46---:-- 1		47---:-- 1	
	7	48---:-- 1		49---:-- 1		50---:-- 1	
	8	51---:-- 1		52---:-- 1		53---:-- 1	
	9	54---:-- 1					
	10	90- 0		91- 0			
	11	92- 1		93- 0		94-13:00	
	12	95- 4 1	96+ 7		97- 9	5 98- 7	
	13	99--0101000-					
※	14	2/ 4+16:50					
	15	EC-F					

※過去 3 回のエラー履歴がリスト末尾に印字されます。

アドレス

01	現在の時刻
02	現在の年 / 月 / 日
03	締日
04	出退切替時刻
05	チャンネル使用数
06	CH1 実行曜日　ON/OFF
07	CH1 残業計算開始時刻
08	CH1 残業印字開始時刻
09	CH1 丸め単位
10	CH1 時数方式　60/100
11 ＊	CH1 リボン切替　黒→赤
12 ＊	CH1 リボン切替　赤→黒
13 ＊	音量調整選択　アナログ / デジタル
14 ＊	デジタル音量
15 ＊	吹鳴長
16 ～ 31 ＊	CH1 時報時刻　曲目

＊ NTR-2700 の場合、印字はされますが無効となっております。

アドレス

32	CH2 実行曜日　ON/OFF
33	CH2 残業計算開始時刻
34	CH2 残業印字開始時刻
35	CH2 丸め単位
36	CH2 時数方式　60/100
37 ＊	CH2 リボン切替　黒→赤
38 ＊	CH2 リボン切替　赤→黒
39 ～ 54 ＊	CH2 時報時刻　曲目
90	タイムカード選択
91	印字選択　日付 / 曜日
92	印字位置調整　左右
93	印字位置調整　上下
94	日替り時刻
95	サマータイム開始　月・週
96	サマータイム開始　曜日
97	サマータイム終了　月・週
98	サマータイム終了　曜日
99	キャンセルキー　1 ～ 7 過去 3 回のエラー履歴 月 / 日 - 時 : 分　内容

26 故障かなと思う前に

故障かなと思ったら、次の確認をして、対処・対応してください。

こんなとき	原　因	処　置
タイムカードが 入らない	・停電中 ・電源プラグが抜けている	停電が回復するまで待つ 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込む
ピーと音がして カードが入らない	・カードの表裏が違う	正しい面を手前にして再投入する
	・中に紙やゴミが入っている	紙やゴミを取り除く
	・カード投入の失敗	カードを押しぎみに軽く投入する
日付が違う	・日付設定の間違い	「年月日の合わせかた」12 ページを参照して設定する
時刻がちがう	・時刻設定の間違い	「時計の合わせかた」9 ページを参照して設定する
印字されない または 印字が薄い	・カード裏表まちがい	カードの表裏を確認して再投入する
	・他社カードを使用	ニッポー専用カードを使用する
	・リボンカセットがはずれている	リボンをセットしなおす
	・リボンカセットの寿命	リボンカセットを交換する
時報が鳴らない	・時報音量調節ボリューム位置の設定不良	「時報設定のしかた」52 ページを参照して再設定する
操作ボタンを押しても ランプが付かない	・キャンセルボタンが設定されている	「ボタンの有効／無効設定」（30 ページ）を参照して解除する
時計の針がずれている	・時計機構の不調	リセットボタンを押して、再起動する 回復しない場合は販売店にご連絡ください （故障している場合は、表示部には「日・時・分・曜日」が表示されます）

27 エラーコードと処理のしかた

操作の間違いや機械にトラブルが発生したとき、表示部に ※1 エラーコードを表示するとともに、ブザー音で知らせます。エラー表示を確認して各々の処理をしてください。

エラー表示	エラー内容	原因と処理
EC02 EC04 EC06	カードつまりエラー	・異物が入っている、中の異物を取り除いてください。 ・何度か出るときは、販売店にご連絡ください。
EC03	RAM エラー	・販売店にご連絡ください。
EC70	カードキーエラー ・カードキーを入れても設定に 移行できない	・カードキーが汚れている可能性があります。新しいカードキーと交換してください。
EC-A	ムーブメントエラー	・電源を入れ直してください。 ・何度か出るときは、販売店にご連絡ください。
EC-C	カード表裏間違い	・カードの表裏を確認して再投入してください。 ・ニッポータイムカードをご使用か確認してください。
EC-E EC-F	フィードエラー	・再度カードを投入し直してください。 ・カード引込中にカードを抜いたものと思われます、動作中はカードを抜かないでください。 ・折れ曲がったカードは使用しないでください。 ・異物が入っている、中の異物を取り除いてください。 ・何度か出るときは、販売店にご連絡ください。
EC-P	プリンターエラー	・電源を入れ直してください。 ・何度か出るときは、販売店にご連絡ください。
EC-U	設定値保存エラー ・設定値が保存できない	・再度設定してもエラーが出る場合は販売店にご連絡ください。
EC-H	モータエラー	・安全装置が作動しました。コンセントを抜いて5分間待って、再度コンセントを挿してください。再度発生した場合は、販売店にご連絡ください。

※ 1　操作の間違いや機械にトラブルが発生したときに、液晶表示に表示される英数字のことです。

設定早見表

設定項目			設定範囲	初期値	備考	アドレス
No.	項目	小項目				
1	時分		_0～23時 00～59分	_0時 00分		01
特殊設定	年月日	年	2015～2099年	2015年		02
		月	_1～12月	1月		
		日	_1～31日	1日		
2	締日		_1～31日	31日		03
特殊設定	タイムカード選択	自社表裏判別無	0	_1		90
		自社表裏判別有	1			
		A社カード	2		※1	
		S社カード	3		※2	
	印字タイプ		0／1	_0	0：日付印字 1：曜日印字	91
	印字位置	左右移動	－2～0～＋2	_0	左右各2mm 調整可	92
		上下移動	－6～0～＋6	_0	上下各6mm 調整可	93
3	出退切替時刻		_0～23時 00～59分	——時 ——分		04
特殊設定	日替り時刻		_0～23時 00～59分	_3時		94
	サマータイム	開始月	_1～12月	——月		95
		開始週	_1～_5週	——週	該当曜日の 第一週より	
		開始曜日	月、火、水、木、金、土、日 _1～_7 7：日曜日	——曜日	月曜日から 日曜日まで	96
		終了月	_1～12月	——月		97
		終了週	_1～_5週	——週	該当曜日の 第一週より	
		終了曜日	月、火、水、木、金、土、日 _1～_7 7：日曜日	——曜日	月曜日から 日曜日まで	98

設定早見表

設定項目			設定範囲	初期値	備考	アドレス	
No.	項目	小項目					
特殊設定	ボタンの有効 / 無効	出勤	0／1	_0	0：有効 1：無効	99	
		外出	0／1	_0			
		再入	0／1	_0			
		退出	0／1	_0			
		残業	0／1	_0			
		残業	0／1	_0			
		徹夜	0／1	_0			
4	チャンネル設定	ﾁｬﾝﾈﾙ使用数選択	_1／_2	1		05	
		実行曜日	日、月、火、水、木、金ｆ＝0 ｏｎ＝1、ｏｆｆ＝0	1: 全 on 2: 全 off		06	32
5	残業設定	残業開始時刻	_0～23時 00～59分	——時 ——分		07	33
		印字開始時刻	_0～23時 00～59分	アドレス 07,33 を デフォルト		08	34
		丸め単位	1,5,6,10,15,20,30,60	_1		09	35
		時数方式	60／10	60	60：60 進 10：100 進	10	36
6	リボン設定 (NTR-2800 のみ)	黒→赤切替時刻	_0～23時 00～59分	——時 ——分		11	37
		赤→黒切替時刻	_0～23時	アドレス 11,37 を デフォルト		12	38
7	時報設定 (NTR-2800 のみ)	音量調整選択	_0／_1	_1	0：アナログ 1：デジタル	13	
		ﾃﾞｼﾞﾀﾙ音量調整	_1～10	5	※3	14	
		吹鳴長	_0～99秒	20秒	※4	15	
		時報1～16	_0～23時 00～59分 (但し、同じ時刻が存在した場合は最後に設定された時刻が有効)	時刻 1～16 ——時 ——分		16～31	39～54
		選曲	0：外部時報のみ 1：峠の我が家 (35 秒) 2：アマポーラ (31 秒) 3：ウェストミンスター (27 秒)	_1			

※1　締日がある面（裏面）の最上段（1段目）を空ける。（但し、末締を除く。）
※2　締日を含まない面（表面）の最下段（16段目）を空ける。
※3　音量調整選択で“0”を選択した場合は、アドレス14に行かずアドレス15に飛びます。
※4　内蔵メロディーは選択曲以上の秒数を時報吹鳴長で指定してもリピートしません。

消耗品および仕様

■消耗品

消耗品は、ご購入された販売店もしくは、下記販売サイトにてお買い求めください。

[NIPPO-DIRECT]http://www.nippo-direct.com/

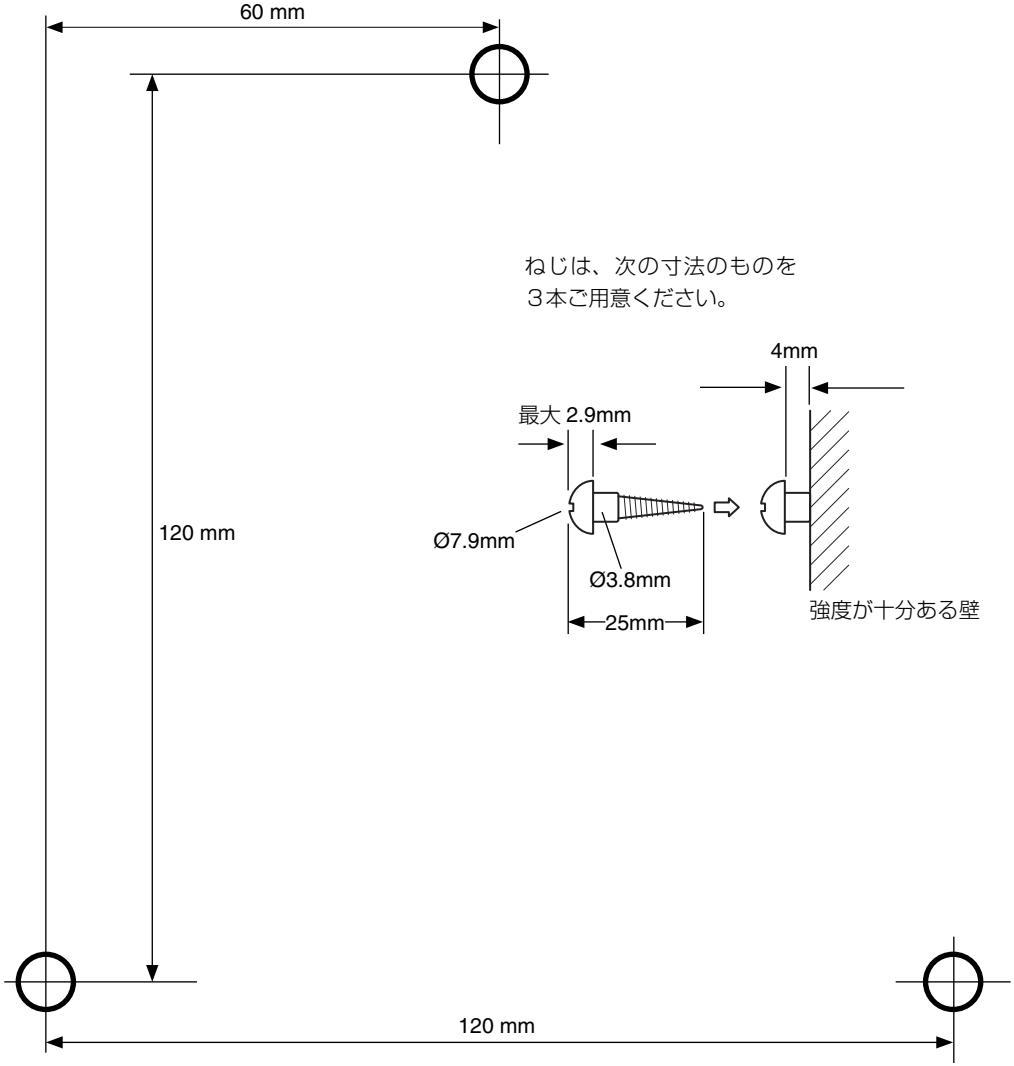
- ニッポータイムカード 600 T シリーズ（100 枚入）
  ご注文の際は、締日をご指定ください。
- NTR-2700 用リボンカセット　R1 リボン（1 色）
- NTR-2800 用リボンカセット　R2 リボン（2色）

■仕　様

電　　源	AC100V（± 10%）　50 ／ 60Hz
消費電力	通常 2 W　　最大 16 W
使用温度	−5℃から 40℃
使用湿度	20%から 80%（結露しないこと）
時計機能	温度補償高精度時計 IC 使用　平均月差 ±15 秒
月末調整	万年カレンダー内蔵（西暦 2099 年 12 月 31 日まで）
表　　示	液晶デジタルおよびアナログ時計表示
印字方式	インパクトドット方式
リボン	カセット式　1色（黒）[NTR-2700] 2色（黒・赤）[NTR-2800]
停電保証期間	出荷時より累計停電時間約 3 年（25℃）
外部時報接続	無電圧接点方式（定格 5A 30V DC、10A 125V AC）
外形寸法	幅 196 mm×高さ 225 mm×奥行 133 mm
重　　量	2.0Kg [NTR-2700] 2.1Kg [NTR-2800]

壁かけ用取付穴寸法

本機を壁かけでご使用になるときは、下記寸法を参考にして強度が十分ある壁に取り付けてください。



ニッポー株式会社

〒 103-0023
東京都中央区日本橋本町 4-8-14　東京建物第 3 室町ビル

ニッポー株式会社ホームページ
http://www.techno7.co.jp/nippo/

お客様センター　フリーコール 0120-977-210

受付時間　9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00
土・日・祝祭日・会社特別休日を除く

● **本機についてのお問合せ、修理などの際は、お買い上げの販売店、もしくは、お客様センター、最寄りの営業所までご連絡ください。**

CC6302560　　5BH2702PEN1